

いわき市立
美術館年報

令和 7 年度

目 次

沿 革	2
展覧会事業	3
常設展	3
企画展	11
谷川俊太郎 絵本★百貨展	11
日本の巨大ロボット群像	
ー巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現ー	14
やすらぎの近代絵画	
ーユニマットコレクション ミレーからワイエスまでー	24
コレクションの輝き	28
小企画展	32
いわき市小・中学生版画展プラスー版画のカー	32
ニユーアートシーン・イン・いわき unpis ルートs	34
共催展	41
第55回いわき市民美術展覧会	41
普及事業	44
移動美術館	44
講演会	44
美術講座	44
ギャラリートーク	45
ワークショップ	45
実技講座	47
公開制作	47
映像鑑賞会	47
コンサート&パフォーマンス	48
出版	49
実技講習室の公開	49
図書室の公開	50
実習生の受け入れ	50
バーチャルミュージアム	50
共催事業	51
所蔵資料	53
美術作品収蔵状況	53
美術作品貸出状況	54
資料の購入等に関する状況	54
令和7年度新収蔵作品	55
管理・運営	63
美術館関係法規 いわき市立美術館条例	63
美術館関係法規 いわき市立美術館管理規則	65
利用者一覧 事業経過報告	69
令和7年度美術館費当初予算	71
名簿	72
施設案内	73
利用案内	74

沿革

昭和53年 2月	いわき市民ギャラリー主催による「ヘンリー・ムーア展」が開催され盛況をおさめたことが市民の反響をよび、市立美術館建設の機運が高まる
昭和53年 6月	市総合計画の中で、前期に美術館建設計画を盛り込む
昭和54年 5月	美術館建設基本構想委員会を設置、委員 6 人を委嘱
昭和54年 8月	同委員会より美術館の基本構想について答申
昭和54年11月	基本構想を具体的に検討するため、市民20名による美術館建設審議会を設置
昭和55年 3月	美術品選定評価委員会を設置、委員 5 名を委嘱
昭和55年 9月	美術館・博物館建設準備室を設置
昭和55年 9月	美術館建設審議会から美術館建設について答申
昭和55年10月	基本設計は、指名競争設計方式で行うことを決める
昭和56年 1月	美術館建設基本設計審議会を設置、委員14名を委嘱
昭和56年 1月	同委員会で佐藤武夫設計事務所の案を選定
昭和56年 9月	美術館実施計画書の提出
昭和56年12月	市議会で美術館工事請負契約を決議
昭和56年12月	建設工事着工
昭和58年11月	竣工
昭和58年12月	市議会において美術館条例を決議
昭和59年 4月	美術館組織発足
昭和59年 4月28日	開館
昭和59年 4月29日	一般公開
昭和59年10月10日	いわき市立美術館友の会発足
平成 3年 4月	常設展の観覧料を祝日無料とする
平成 4年 4月	企画展の観覧をもって常設展観覧無料とする 7月、8月の金曜日の夜間開館開始
平成 4年10月	美術館協議会より「いわき市立美術館振興策」が提出される
平成 5年 1月	毎月第2土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成 7年 4月	毎月第2、第4土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成12年 3月	美術館協議会より「いわき市立美術館第2次振興策」が提出される
平成14年 4月	障害者、高齢者の観覧を無料とする。また、児童生徒などが土曜日、日曜日に観覧する場合、および学校の教育活動などで観覧する場合の観覧料を無料とする
平成15年 9月～12月	大規模改修工事（休館）
平成19年 3月～ 7月	アスベスト除去工事（休館）
平成23年 3月11日	東日本大震災
平成25年 9月～平成26年11月	空気調和設備改修工事（休館）
平成28年 4月	行政組織の改革等に伴い文化スポーツ業務が市長部局に移管。美術館事業は補助執行により市長部局文化振興課の所管となる
令和 4年 3月～ 4月	エレベーター改修工事（休館）
令和 4年 4月	行政組織改正に伴い、文化交流課の所管となる
令和 7年 4月	行政組織改正に伴い、文化振興課の所管となる



美術館外観

令和7年度 常設展（前期・後期）

前期Ⅰでは「日本現代美術の開拓者たち」と題し、戦後日本の現代美術を切り拓いた作家たちを紹介。読売アンデパンダン展で活動した工藤哲巳、篠原有司男や、非定形でエネルギーな画面を特徴とする「アンフォルメル」で活躍した堂本尚郎、今井俊満らの作品を展示した。また、小企画前期Ⅰ「特集：谷川俊太郎といわき」では、詩人草野心平との交流や郷ヶ丘小学校校歌の作詞など、いわきとの関わりを物語る作品・資料を紹介した。さらに、小企画前期Ⅱ「自然を見つめて」では、銅版画で自然の浸食や時間の流れを表現した中林忠良、自然と人工物の融合をテーマにした写真家小本章など、自然との関係性を探る作家たちの作品を展示し、令和6年度新収蔵作品も併せて公開した。

後期Ⅰ「多様化する現代美術」では、戦後美術において伝統から解放され、新たな表現を追求した国内外の作家たちに焦点をあて、イヴ・クライン、セザール、村井正誠、山口長男、草間彌生らの作品を展示。さらに、小企画後期Ⅰ「色と形・素材とのかかわり」では、カルロス・クルス＝ディエス、エルズワース・ケリー、百瀬寿らが手掛けた、色や形、素材を効果的に用いた作品を紹介。また、故名誉館長田口安男の主要な作品の特別展示もした。小企画後期Ⅱ「新しい秩序の創造」では、幾何学的な構成や素材そのものの力を活かした、ヴィクトル・ヴァザルリ、ブリジット・ライリー、李禹煥らの作品を展示した。

会期 前期Ⅰ 2025年 4月22日(火)～2025年 7月21日(月・祝)

前期Ⅱ 2025年 7月23日(水)～2025年10月19日(日)

後期Ⅰ 2025年10月21日(火)～2026年 1月18日(日)

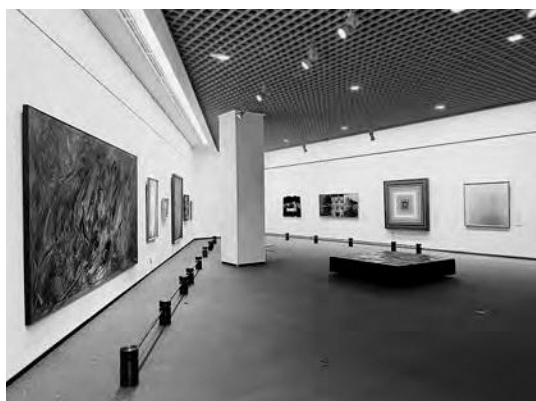
後期Ⅱ 2026年 1月20日(火)～2026年 3月31日(火)

会場 いわき市立美術館 常設展示室

主催 いわき市立美術館



前期 日本現代美術の開拓者たち



後期Ⅰ 色と形・素材とのかかわり
田口安男遺作展示

●令和7年度常設展 前期 I (2025年4月22日～2025年7月21日) 作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
■日本現代美術の開拓者たち						
1	山口勝弘	赤い街	1957	油彩・ガラス(ヴィトリース)	59.0×90.0	
2	北代省三	ヒステリシス・フェノメノン	1948(1989年再制作)	油彩・カンヴァス	116.7×116.7	
3	北代省三	ホワイトノイズ	1951(1989年再制作)	油彩・カンヴァス	72.7×116.7	
4	北代省三	ラジオ・ギャラックス	1955(1990年作家により再構成、1999年補彩)	ジュラルミン、真鍮、鉄、木	310.0×360.0×360.0	
5	菊畑茂久馬	植物図鑑 二	1965	油彩、木、プラスチック	202.7×135.0×10.0	
6	工藤哲巳	限定プールにおける増殖性連鎖反応	1958	しゅろ縄、ビニールホース、木	199.0×153.0×16.0	
7	磯辺行久	Work 62-11	1962	油彩、大理石粉、メディウム・木	182.0×127.5	
8	堂本尚郎	焰	1979	グアッシュ・紙	113.0×99.5	
9	堂本尚郎	1960-5	1960	油彩・カンヴァス	133.0×99.5	
10	今井俊満	鳴り響く嵐	1963	油彩・カンヴァス	195.0×266.0	
11	吉原治良	作品	1966	油彩・カンヴァス	185.0×230.0	
12	白髪一雄	天殺星黒旋風李逵	1962	油彩・カンヴァス	182.5×273.0	
13	高松次郎	赤ん坊の影	1980	アクリル彩・カンヴァス	250.0×310.0	
14	高松次郎	紙の単体	1972	紙・布	140.5×240.0	
15	中西夏之	韻 '60	1960	ペイント、エナメル、砂・合板	91.6×105.6	
16	中西夏之	コンパクト・オブジェ	1962	ポリエステル・時計など	15.0×15.0×23.0	
17	篠原有司男	トロピカル・ドリーム	1982	フェルトペン、インク、プラスチック・紙	57.0×72.0	
18	篠原有司男	シティバスとマジンガーZ	1982	フェルトペン、インク、プラスチック・紙	56.0×72.0	
19	荒川修作	意味されるもの、あるいは も 1	1975-76	エッチング、彩色、アクアチント・紙	60.5×90.0	
20	荒川修作	意味されるもの、あるいは も 2	1975-76	エッチング、彩色、アクアチント・紙	60.5×90.0	

No.	作家名	作品名	制作年／刊行年	技法・素材	寸法(縦×横cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
■特集：谷川俊太郎といわき						
●谷川俊太郎と共作した作家たち						
1	元永定正	作品	1961年	エナメル・カンヴァス、合板	183.0×137.5	
2	香月泰男	石版画集 北海道(12点)	1971年			
2-1	香月泰男	1 層雲峡	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-2	香月泰男	2 摩周湖	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-3	香月泰男	3 水芭蕉	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-4	香月泰男	4 大雪山連峰	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-5	香月泰男	5 阿寒の山肌	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-6	香月泰男	6 北見	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-7	香月泰男	7 美幌峠残雪	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-8	香月泰男	8 知床小漁村	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-9	香月泰男	9 美幌峠から屈斜路湖	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-10	香月泰男	10 白樺若木	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-11	香月泰男	11 オホーツクの朝	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
2-12	香月泰男	12 オホーツクの日の出	1971年	リトグラフ	44.5×32.0	
3	猪熊弦一郎	絵の中にある絵の仲間	1980年	油彩・カンヴァス	193.8×130.0	
4	栗津潔	ヒロシマ・アピールズ・ポスター「鳥たち」	1984年	オフセット・紙	103.0×72.8	
5	峰丘	動物たちのカーニバル「ライオンのおうさま」	1996年	油彩、アクリル彩、金箔・カンヴァス	169.0×87.0	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年／刊行年	技法・素材	寸法（縦×横cm）	所蔵（記載のないものはすべて当館蔵）
6	峰丘	動物たちのカーニバル（全13点）	1995年			遠藤佐一氏蔵
6-1	峰丘	ライオンのおうさま	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	22.7×15.8	遠藤佐一氏蔵
6-2	峰丘	にわたりのふうふ	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-3	峰丘	ロバのピエロ	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-4	峰丘	かめのじいさま	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	22.7×15.8	遠藤佐一氏蔵
6-5	峰丘	ぞうのおすもうさん	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-6	峰丘	カンガルーのおじょうさま	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	22.7×15.8	遠藤佐一氏蔵
6-7	峰丘	おさかなのおかねもち	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-8	峰丘	ラバのよっぱらい	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	22.7×15.8	遠藤佐一氏蔵
6-9	峰丘	かっこうのゆうれい	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-10	峰丘	とりのおかあさんたち	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-11	峰丘	てながざるのピアニスト	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	22.7×15.8	遠藤佐一氏蔵
6-12	峰丘	マンモスのほね	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	15.8×22.7	遠藤佐一氏蔵
6-13	峰丘	はくちょうのおうじょ	1995年	ミクストメディア、金箔・ボード	22.7×15.8	遠藤佐一氏蔵
7	岡崎乾二郎	町に住んでいる子どもは鬱蒼と静まる木の下に行くだけでも怖いようだけれども、友達もいない、田舎に育った私たちには怖いものがない。朝起きるとありっこないことを信じる練習をしています。えいやっと、牛の逆立ち、花や実に誘われているだけでも楽しかった。家の庭師は何も分かってくれないけれど物事の多くは証明されぬままに残っている。	2002年	アクリル彩・カンヴァス	180.0×130.0	
8	岡崎乾二郎	土地のせいなのか、真夜中に突然しくしく夢うつに泣き出したり、私たちとは違って、遠く吠える犬の声にも凍てついたりする。あなたはね、修行が足りないのよ、手伝うというのは役に立つ場所を見つけることよ。町に住みたいと空に想いを描くことだけならできるさ。また庭の土も冷たいし夜も少しは冷える。目を醒ましてみると雨が降っていた。	2002年	アクリル彩・カンヴァス	180.0×130.0	
9	tupera tupera	tupera tupera公開制作「かおPLAY!」	2021年	紙（遠野和紙）	91.5×120.0	いわきアリオス蔵
10	tupera tupera	tupera tupera公開制作「かおPLAY!」	2021年	紙（遠野和紙）	91.5×120.0	いわきアリオス蔵

●校歌のしごと—いわき市立郷ヶ丘小学校

1	湯浅譲二	『郷ヶ丘小学校沿革史』より 校歌楽譜（複製）	1982年2月		A 4判×2枚	郷ヶ丘小学校蔵
2	谷川俊太郎	『郷ヶ丘小学校沿革史』より 校歌歌詞			25.5×36.0	郷ヶ丘小学校蔵
3	谷川俊太郎	校長宛 書簡	1982年1月6日		A 4判×2枚	郷ヶ丘小学校蔵
4		郷ヶ丘小学校PTA会報第3号	1982年3月23日		B 4判二つ折り	郷ヶ丘小学校蔵
5	谷川俊太郎	「生きる」色紙	1991年2月9日		27×24	郷ヶ丘小学校蔵

No.	作家名	作品名	制作年／刊行年	技法・素材	寸法（縦×横cm）	所蔵（記載のないものはすべて当館蔵）
●詩人・草野心平との関わり						
1	草野心平	（静物）	1971年	パステル	約60×60	草野心平記念文学館蔵
2	草野心平	谷川徹三宛 はがき	昭和22（1947）年 消印			草野心平記念文学館蔵
3	草野心平	谷川徹三宛 書簡	昭和32（1957）年 4月1日消印			草野心平記念文学館蔵
4	谷川徹三	草野心平宛 はがき	昭和32（1957）年 1月31日消印			草野心平記念文学館蔵
5	谷川俊太郎、 岸田衿子	草野心平宛 はがき	昭和31（1956）年 10月25日消印			草野心平記念文学館蔵
6	谷川俊太郎	草野心平宛 書簡	昭和49（1974）年 1月18日消印			草野心平記念文学館蔵
7	谷川俊太郎	草野心平宛 はがき	昭和49（1974）年 4月22日消印			草野心平記念文学館蔵
8	谷川俊太郎	草野心平宛 はがき	昭和50（1975）年 消印			草野心平記念文学館蔵
9	谷川俊太郎	草野心平宛 はがき	昭和52（1977）年 12月26日消印			草野心平記念文学館蔵
10	草野心平	『第百階級』	1928年刊行、 銅鑼社			草野心平記念文学館蔵
11	草野心平	『第百階級』 自筆原稿「散歩」				草野心平記念文学館蔵
12	草野心平	『第百階級』 自筆原稿「●」				草野心平記念文学館蔵
13	草野心平	『第百階級』 自筆原稿「冬眠」				草野心平記念文学館蔵
14		『歷程』 60号	1957年4月、 歷程社			草野心平記念文学館蔵
15		『歷程』 61号	1958年4月、 歷程社			草野心平記念文学館蔵
16	草野心平	『第百階級』復刻版	成瀬書房			草野心平記念文学館蔵
17	谷川俊太郎 ほか	いわきアリオス開館を記念し開催された「谷川俊太郎＋DiVa 2 DAYS PERFORMANCES vol.2 詩（うた）をうたうー草野心平へのオマージュ」（2008年）にて送られた色紙	2008年6月8日			草野心平記念文学館蔵
●「アリオスに寄せて」 いわき芸術文化交流館アリオス						
1	tupera tupera	いまここ	2018年	紙		いわきアリオス蔵
2	tupera tupera	舞台に 舞台から	2018年	紙		いわきアリオス蔵
3	tupera tupera	ハコのうた	2018年	紙		いわきアリオス蔵
4	tupera tupera	場	2018年	紙		いわきアリオス蔵

●令和7年度常設展 前期Ⅱ（2025年7月23日～2025年10月19日） 作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 （縦×横×奥行cm）	所蔵（記載のないものはすべて当館蔵）
■日本現代美術の開拓者たち						
1	山口勝弘	赤い街	1957	油彩・ガラス（ヴィトリース）	59.0×90.0	
2	北代省三	ヒステリシス・フェノメノン	1948（1989年 再制作）	油彩・カンヴァス	116.7×116.7	
3	北代省三	ホワイトノイズ	1951（1989年 再制作）	油彩・カンヴァス	72.7×116.7	
4	北代省三	ラジオ・ギャラククス	1955（1990年作家により再構成、 1999年補彩）	ジュラルミン、真鍮、 鉄、木	310.0×360.0×360.0	
5	菊畑茂久馬	植物図鑑 二	1965	油彩、木、プラスチック	202.7×135.0×10.0	
6	工藤哲巳	限定プールにおける増殖性連鎖反応	1958	しゅろ縄、ビニール ホース、木	199.0×153.0×16.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横×奥行cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
7	磯辺行久	Work 62-11	1962	油彩、大理石粉、メディウム・木	182.0×127.5	
8	堂本尚郎	焰	1979	グアッシュ・紙	113.0×99.5	
9	堂本尚郎	1960-5	1960	油彩・カンヴァス	133.0×99.5	
10	今井俊満	鳴り響く嵐	1963	油彩・カンヴァス	195.0×266.0	
11	吉原治良	作品	1966	油彩・カンヴァス	185.0×230.0	
12	白髪一雄	天殺星黒旋風李達	1962	油彩・カンヴァス	182.5×273.0	
13	高松次郎	赤ん坊の影	1980	アクリル彩・カンヴァス	250.0×310.0	
14	高松次郎	紙の単体	1972	紙・布	140.5×240.0	
15	中西夏之	韻'60	1960	ペイント、エナメル、砂・合板	91.6×105.6	
16	中西夏之	コンパクト・オブジェ	1962	ポリエステル・時計など	15.0×15.0×23.0	
17	篠原有司男	鏡の中の花魁	1969	セリグラフ・紙	60.5×50.0	
18	篠原有司男	源氏シリーズ2	1982	フェルトペン、インク、プラスチック・紙	56.8×72.0	
19	荒川修作	意味されるもの、あるいは もしも 3	1975-76	エッチング、彩色、アクアチント・紙	60.5×90.0	
20	荒川修作	意味されるもの、あるいは もしも 4	1975-76	エッチング、彩色、アクアチント・紙	60.5×90.0	
■自然を見つめて						
21	中林忠良	転位'82地-II(秋)	1982年	エッチング、アクアチント・紙	56.8×49.0	
22	中林忠良	転位'82地-III(冬)	1982年	エッチング、アクアチント・紙	57.0×49.0	
23	中林忠良	転位'82地-V(春)	1982年	エッチング、アクアチント・紙	56.8×49.3	
24	中林忠良	転位'82地-VI(夏)	1982年	エッチング、アクアチント・紙	57.0×49.0	
25	小本章	SEEING 81-11	1990年	チバカラブリント・紙	100.0×73.0	
26	小本章	BIWAKO-1	1985年	シルクスクリーン・紙	22.0×30.0	
27	小本章	BIWAKO-2	1985年	シルクスクリーン・紙	30.0×22.0	
28	小本章	BIWAKO-3	1985年	シルクスクリーン・紙	22.0×30.0	
29	デイヴィッド・ナッシュ	降りてくる船と中身	1989-91年	木	230.0×77.5×55.0	
30	デイヴィッド・ナッシュ	プレイング・ゴーイング	1989年	木炭・紙	100.0×185.0	
31	ジョーン・ミッチェル	紫色の木	1964年	油彩・カンヴァス	161.8×114.0	
32	田淵安一	地下の樹	1979年	油彩・カンヴァス	200.0×200.0	
33	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	ポフツカワの木と移ろう恋ーパースでの一週間	1975年	混合技法・チップボード	68.6×96.5	
34	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	緑の力	1976年	シルクスクリーン、メタルプリント・紙	83.5×63.5	
35	フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー	黒い鯨の歌	1979年	木版・紙	57.0×43.0	
36	ジュゼッペ・ペノーネ	川になる 3	1992年	大理石(2点組み)	30.0×40.0×30.0	
37	ジュゼッペ・ペノーネ	石を彫ることは川になることである	1981年	油性インク、鉛筆・紙	34.3×50.0	
38	ジュゼッペ・ペノーネ	海の石のように山の石を彫る	1981年	鉛筆、コーヒー・紙	22.5×27.5	
■令和6年度 新収蔵作品						
39	殿敷侃	楠木のお好焼風料理法	1988年	墨、水彩、インク・紙	54.0×38.0	
40	菱沼儀	花	不詳	油彩・カンヴァス	60.6×50.0	
41	若松光一郎	霊山	1943年	油彩・カンヴァス	43.0×38.0	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横×奥行cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
42	若松光一郎	老農夫	1957年	木炭、コンテ・紙	38.0×26.0	
43	中谷泰	好間風景	1984年	鉛筆・紙	22.8×31.7	
44	スコットランド アーツカウンシル	「Rosenquist Prints」展覧会ポスター	1974年	スクリーンプリント・紙	75.7×53.0	
45	ギャラリー エム (ポーfum)	「リチャード・セラ 彫刻とデッサン」展覧会ポスター	1983年	オフセット・紙	75.8×59.3	
46	副田高行 (写真:石内都)	「ヒロシマ・アビールズ」ポスター 2024遺品が訴えるもの	2024年	オフセット・紙	72.8×103.0	
47	伊藤知香	衣 i	1983年	陶	67.8×35.5×0.5	
48	安藤榮作	宇宙のトルソ	2024年	楠	47.0×21.0×12.5	

●令和7年度常設展 後期 I (2025年10月21日～2026年1月18日) 作品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横×奥行cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
■多様化する現代美術						
1	ルーチョ・ フォンタナ	空間概念・期待	1959	油彩・カンヴァス	80.0×100.0	
2	サイ・トゥオン ブリー	What Wing Can Be Held?	1960	鉛筆、油彩、クレヨン、 色鉛筆・カンヴァス	152.5×199.0	
3	イヴ・クライン	火の絵画	1961	焦げた厚紙・板	132.0×64.0	
4	アルマン	ダマスカスの婦人の腰	1974	コントラバス、弓、コ ンクリート	164.0×124.0×13.0	
5	セザール	コンプレッション 2	1976	カードボード	100.2×90.2	
6	ジャン・ デュビュッフェ	瞬間の定着	1978	ビニール塗料・ペーパー コラージュ・カンヴァス	122.3×114.0	
7	村井正誠	ねこ	1958	油彩・カンヴァス	72.8×61.0	
8	山口長男	三つの四角	1956	油彩・合板	183.0×183.0	
9	杉全直	きっこう 白	1962	油彩・カンヴァス	131.0×161.5	
10	斎藤義重	絵画 7	1960	油彩・合板	174.0×122.0	
11	草間彌生	Interminable Net No. 1	1959	油彩・カンヴァス	147.6×142.0	
12	草間彌生	最後の晚餐	1981	布、いす、机	115.0×340.0×260.0	
13	難波田龍起	狂詩曲	1962	油彩、エナメル・カン ヴァス	130.0×162.0	
14	関根美夫	ABACUS	1964	油彩・カンヴァス	162.0×130.5	
15	中村宏	国家論	1964	インク、カシュ、油彩・ カンヴァス	130.0×160.0	
16	桂ゆき	えい	1965	油彩、紙・合板	162.0×122.0	
17	菅井汲	海・太陽	1966	油彩・カンヴァス	200.0×160.0	
18	高松次郎	点	1961	油彩・カンヴァス	61.8×42.0	
19	高松次郎	点	1962	紐、ラッカー・木	27.5×22.5	
20	高松次郎	影 (A)	1964	油彩・合板	211.0×168.0×12.0	
21	関根伸夫	位相一大地	1986	シルクスクリーン・紙	100.0×200.0	
■色と形・素材とのかかわり						
22	カルロス・クルス =ディエス	色彩誘導	1974	シルクスクリーン・紙	78.5×78.5	
23	カルロス・クルス =ディエス	色彩誘導	1974	シルクスクリーン・紙	78.5×78.5	
24	カルロス・クルス =ディエス	色彩誘導	1974	シルクスクリーン・紙	78.5×78.5	
25	エルズワース・ ケリー	ライト・ブルーにオレンジ	1964	リトグラフ・紙	89.5×60.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横×奥行cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
26	エルズワース・ケリー	ブルーとオレンジとグリーン	1964	リトグラフ・紙	89.5×60.0	
27	エルズワース・ケリー	イエローの上にレッド	1964	リトグラフ・紙	89.5×60.0	
28	エルズワース・ケリー	グリーンの上にブルー	1964	リトグラフ・紙	60.0×89.5	
29	アンリ・マティス	版画集「ジャズ」より、5 馬と騎士と道化役者	1947	ステンシル・紙	42.0×64.0	
30	アンリ・マティス	版画集「ジャズ」より、17 珊瑚礁 I	1947	ステンシル・紙	42.0×64.0	
31	百瀬寿	Nine Stripes, Pearl Orange to Green	1988	アクリル彩・紙・カンヴァス	120.0×120.0	
32	加納光於	親和力	1984	油彩・カンヴァス	91.0×210.9	
33	フランク・ステラ	ウリッド・スケッチ	1967	アクリル彩・カンヴァス	160.2×160.5	
34	畦地拓治	CARVING—WAVE	1983	カーヴィング、シルクスクリーン・合板、アルミニウム、アクリル、銅	95.2×121.0	

■田口安男 遺作展示

35	田口安男	手のうら焰	1980	テンペラ、油彩・カンヴァス	193.0×161.5	
36	田口安男	波から焰へ	1983	油彩、テンペラ・カンヴァス	200.0×400.0	
37	田口安男	白道—気—	1992	油彩・テンペラ、カンヴァス	291.0×436.0	
38	田口安男	ある主題への変奏	1971	テンペラ・パネル	50×60	
39	田口安男	白いトルソー揺—	1992	テンペラ・パネル	130.4×89.4	

●令和7年度常設展 後期Ⅱ（2026年1月20日～2026年3月31日） 作品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横×奥行cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
■多様化する現代美術						
1	ルーチョ・フォンタナ	空間概念・期待	1959	油彩・カンヴァス	80.0×100.0	
2	イヴ・クライン	火の絵画	1961	焦げた厚紙・板	132.0×64.0	
3	サイ・トゥオンブリー	What Wing Can Be Held?	1960	鉛筆、油彩、クレヨン、色鉛筆・カンヴァス	152.5×199.0	
4	アル・ヘルド	昇る金星	1963	アクリル彩・カンヴァス	178.0×122.5	
5	セザール	コンプレッション2	1976	カードボード	100.2×90.2	
6	ジャン・デュビュッフェ	瞬間の定着	1978	ビニール塗料・ペーパーコラージュ・カンヴァス	122.3×114.0	
7	村井正誠	ねこ	1958	油彩・カンヴァス	72.8×61.0	
8	山口長男	三つの四角	1956	油彩・合板	183.0×183.0	
9	杉全直	きっこう 白	1962	油彩・カンヴァス	131.0×161.5	
10	斎藤義重	絵画7	1960	油彩・合板	174.0×122.0	
11	草間彌生	Interminable Net No. 1	1959	油彩・カンヴァス	147.6×142.0	
12	草間彌生	最後の晚餐	1981	布、いす、机	115.0×340.0×260.0	
13	難波田龍起	狂詩曲	1962	油彩、エナメル・カンヴァス	130.0×162.0	
14	関根美夫	ABACUS	1964	油彩・カンヴァス	162.0×130.5	
15	菅井汲	海・太陽	1966	油彩・カンヴァス	200.0×160.0	
16	中村宏	国家論	1964	インク、カシュ、油彩・カンヴァス	130.0×160.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法 (縦×横×奥行cm)	所蔵(記載のないものはすべて当館蔵)
17	桂ゆき	えい	1965	油彩・紙・合板	162.0×122.0	
18	高松次郎	影 (A)	1964	油彩・合板	170.0×137.0×12.0	
19	高松次郎	点	1962	紐、ラッカー・木	27.5×22.5	
20	高松次郎	点	1961	油彩・カンヴァス	61.8×42.0	
21	駒井哲郎	芽生え	1955	アクアチント、エング レーヴィング・紙	16.5×27.5	
22	駒井哲郎	夜の森	1958	アクアチント・紙	21.6×19.1	
23	駒井哲郎	笑う幼児	1973	アクアチント・紙	20.5×20.5	

■新しい秩序の創造

24	M.C.エッシャー	登って降りて	1947	リトグラフ・紙	50.5×20.5	
25	M.C.エッシャー	めぐり合い	1944	リトグラフ・紙	34.0×46.5	
26	M.C.エッシャー	昼と夜	1938	木版・紙	39.3×67.7	
27	原健	STROKES 79-20	1979	リトグラフ・紙	103.0×69.0	
28	原健	STROKES 79-21	1979	リトグラフ・紙	103.0×69.0	
29	原健	STROKES 81-24	1981	リトグラフ・紙	56.0×97.0	
30	ヴィクトル・ ヴァザルリ	版画集「明晰」より、1 Titlepage	1968	シルクスクリーン・紙	34.0×34.0	
31	ヴィクトル・ ヴァザルリ	版画集「明晰」より、4 Deuton	1970	シルクスクリーン・紙	47.0×40.6	
32	ヴィクトル・ ヴァザルリ	TAVAS	1967	テンペラ・カンヴァス	101.0×101.0	
33	ブリジット・ ライリー	グレーの色づけ I	1972	シルクスクリーン・紙	56.4×57.0	
34	ブリジット・ ライリー	グレーの色づけ II	1972	シルクスクリーン・紙	58.5×57.5	
35	ブリジット・ ライリー	グレーの色づけ III	1972	シルクスクリーン・紙	57.0×58.8	
36	ブリジット・ ライリー	ラー	1981	油彩・リンネル	240.7×205.3	
37	ラファエル・ソト	白と黄と青と黒	1980	木、金属	200.0×200.0×17.0	
38	オノサト・トシノブ	作品	1975	シルクスクリーン・紙	61.0×73.1	
39	オノサト・トシノブ	作品	1975	シルクスクリーン・紙	60.5×72.3	
40	オノサト・トシノブ	作品	1964	油彩・カンヴァス	60.5×74	
41	李禹煥	関係項 A	1979	木版・紙	59.7×80.3	
42	李禹煥	関係項 B	1979	木版・紙	60.0×81.0	
43	李禹煥	点より	1973	岩絵具、にかわ・カンヴァス	182.5×227.5	
44	李禹煥	線より	1980	岩絵具、にかわ・カンヴァス	182.0×227.5	
45	ロイ・リクテン スタイン	「雄牛のプロフィール」より、雄牛I	1973	ラインカット・紙	59.5×85.5	
46	ロイ・リクテン スタイン	「雄牛のプロフィール」より、雄牛II	1973	リトグラフ、ライン カット・紙	59.5×85.5	
47	ロイ・リクテン スタイン	「雄牛のプロフィール」より、雄牛III	1973	リトグラフ、スクリーンブ リント、ラインカット・紙	59.5×85.5	
48	ロイ・リクテン スタイン	「雄牛のプロフィール」より、雄牛IV	1973	リトグラフ、スクリーンブ リント、ラインカット・紙	59.5×85.5	
49	ロイ・リクテン スタイン	「雄牛のプロフィール」より、雄牛V	1973	リトグラフ、スクリーンブ リント、ラインカット・紙	59.5×85.5	
50	ロイ・リクテン スタイン	「雄牛のプロフィール」より、雄牛VI	1973	リトグラフ、スクリーンブ リント、ラインカット・紙	59.5×85.5	
51	ロイ・リクテン スタイン	二つの円のある近代絵画	1966	油彩・カンヴァス	153.0×122.0	
52	内田晴之	静止	1983	アルミ合金、マグネット	36.0×46.0×48.0	
53	堀内正和	作品	1958	鉄	212.0×100.0×84.0	
54	米林雄一	Slant Trapezium No. 2	1981	木、鉛、鉛筆	41.5×65.0×65.0	
55	清水九兵衛	Wig 13	1981	アルミニウム	159.0×63.0×40.0	

谷川俊太郎 絵本★百貨展

1960年代以降、さまざまな絵描きや写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきた詩人の谷川俊太郎（1931-2024）。谷川は、ことばあそび、世界のありようを認識する手がかり、ナンセンスの楽しみ、そして生きることの面白さや大変さ、尊さ、死や戦争までをテーマに、亡くなるまで絵と言葉による表現に挑み続けた。

本展では、約20冊の絵本を取り上げ、多彩なクリエイターと共作した絵本の原画、そして絵本からインスピレーションを得て制作された絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などから谷川俊太郎の世界を紹介した。

また、関連事業として常設展示室において「特集：谷川俊太郎といわき」を開催し、当館所蔵品だけではなく、いわきアリオス、いわき市立草野心平記念文学館、いわき市立郷ヶ丘小学校、所蔵作家・峰丘（そして遠藤佐一氏）より作品

や資料をお借りし、谷川俊太郎といわきとの関わりを紹介した。そのほか、ドキュメンタリー上映会、いわきアリオスといわき市立草野心平記念文学館との連携事業も開催し、こどもから大人まで幅広い層に来館いただいた。

会 期 2025年4月19日(土)～6月8日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室1、2
およびロビー
主 催 いわき市立美術館、福島民友新聞社、
福島中央テレビ
企画協力 ブルーシープ

【図録データ】

構成・インタビュー 刈谷政則

編集 永岡綾

コラム執筆 林綾野

編集補佐 佐藤万記、森本美乃里（ブルーシープ）

ブックデザイン 山達也、山本祐衣、中本ちはる（アリヤマデザインストア）

撮影 坂上俊彦

発行 BlueSheep

発行日 2023年5月12日

ISBN 978-4-908356-44-5



●谷川俊太郎 絵本★百貨展 出品リスト

No.	作品名	ページ数	作家名	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横cm)
■原画						
1	『オサム』	12	絵＝あべ弘士	2021	水彩絵具、色鉛筆、ペン	18.7×17.9
2	『オサム』	20	絵＝あべ弘士	2021	水彩絵具、色鉛筆、ペン	18.0×18.8
3	『オサム』	22	絵＝あべ弘士	2021	水彩絵具、色鉛筆、ペン	19.5×16.5
4	『これはすいはいせん』	6-7	絵＝tupera tupera	2016	紙、切り絵、鉛筆	36.4×51.4
5	『これはすいはいせん』	8-9	絵＝tupera tupera	2016	紙、切り絵、鉛筆	36.4×51.4
6	『これはすいはいせん』	16-17	絵＝tupera tupera	2016	紙、切り絵、鉛筆	36.4×51.4
7	『これはすいはいせん』	18-19	絵＝tupera tupera	2016	紙、切り絵、鉛筆	36.4×51.4
8	『これはすいはいせん』	26-27	絵＝tupera tupera	2016	紙、切り絵、鉛筆	36.4×51.4
9	『ままです すきです すてきです』	1、24	絵＝タイガー立石	1986	水彩絵具、ペン	36.3×49.9
10	『ままです すきです すてきです』	14-15	絵＝タイガー立石	1986	水彩絵具、ペン	36.3×49.9
11	『ままです すきです すてきです』	16-17	絵＝タイガー立石	1986	水彩絵具、ペン	36.3×49.9
12	『ままです すきです すてきです』	18-19	絵＝タイガー立石	1986	水彩絵具、ペン	36.3×49.9
13	『ままです すきです すてきです』	20-21	絵＝タイガー立石	1986	水彩絵具、ペン	36.3×49.9
14	『ままです すきです すてきです』	22-23	絵＝タイガー立石	1986	水彩絵具、ペン	36.3×49.9
15	『ここはおうち』	18-19	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
16	『ここはおうち』	20-21	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
17	『ここはおうち』	22-23	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
18	『ここはおうち』	24-25	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
19	『ここはおうち』	26-27	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
20	『ここはおうち』	28-29	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
21	『ここはおうち』	30-31	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
22	『ここはおうち』	32-33	絵＝junaida	2022	水彩絵具、鉛筆	29.7×42.0
23	『おならうた』	4-5	絵＝飯野和好	2006	水彩絵具、鉛筆、マーカー	38.0×53.9
24	『おならうた』	14-15	絵＝飯野和好	2006	水彩絵具、鉛筆、マーカー	38.0×53.9
25	『おならうた』	16-17	絵＝飯野和好	2006	水彩絵具、鉛筆、マーカー	38.0×53.9
26	『おならうた』	20-21	絵＝飯野和好	2006	水彩絵具、鉛筆、マーカー	38.0×53.9
27	『かないくん』	4-5	絵＝松本大洋	2014	水彩絵具、鉛筆	27.2×39.3
28	『かないくん』	12-13	絵＝松本大洋	2014	水彩絵具、鉛筆	27.0×39.2
29	『かないくん』	24-25	絵＝松本大洋	2014	水彩絵具、鉛筆	27.0×39.2
30	『かないくん』	30-31	絵＝松本大洋	2014	水彩絵具、鉛筆	27.0×39.2
31	『かないくん』	48	絵＝松本大洋	2014	水彩絵具、鉛筆	36.2×25.5
32	『ぼく』	10-11	絵＝合田里美	2022	アクリル絵具	38.9×46.5
33	『ぼく』	22-23	絵＝合田里美	2022	アクリル絵具	38.9×46.5
34	『ぼく』	24-25	絵＝合田里美	2022	アクリル絵具	38.9×46.5
35	『ぼく』	30-31	絵＝合田里美	2022	アクリル絵具	38.9×46.5
36	『おそばおぼけ』		絵＝しりあがり寿	2009		
37	『おそばおぼけ』		絵＝しりあがり寿	2009		
38	『おそばおぼけ』		絵＝しりあがり寿	2009		
39	『おそばおぼけ』		絵＝しりあがり寿	2009		
40	『おそばおぼけ』		絵＝しりあがり寿	2009		
41	『おそばおぼけ』		絵＝しりあがり寿	2009		

No.	作品名	作家名	発行年	技法・素材
■書籍現物				
42	『絵本』	写真＝谷川俊太郎	1956（2010復刊 落標）	
■写真				
43-57	『なおみ』	写真＝沢渡朔	1982	写真出力
■インスタレーションなど				
58	『ことばあそびうた』	絵＝瀬川康男	1973	造作
59	『まるのおうさま』	絵＝栗津潔	1971	映像
60	『こっぷ』	写真＝今村昌昭	1972	造作
61	『びよびよ』	絵＝堀内誠一	1972（2009復刊 くもん出版）	造作
62	『とき』	絵＝太田大八	1973	映像
63	『えをかく』	絵＝長新太	1973（1979復刊 講談社）	巨大メッシュターボリン絵巻
64	『せんそうごっこ』	絵＝三輪滋	1982（2015復刊 いそっぷ社）	造作
65	『へいわとせんそう』	絵＝Noritake	2019	造作
66	『うつくしい！』	写真＝塚原琢哉	1983	映像
67	和田誠コーナー（8冊）	絵＝和田誠		造作
68	『すきのあいうえお』	写真＝田附勝	2023	映像
69	『もこ もこもこ』	絵＝元永定正	1977	映像

■読書コーナー（書籍現物 約100冊）

日本の巨大ロボット群像 ー巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現ー

日本における巨大ロボットアニメは、『鉄人28号』（1963年）を先駆けに、『マジンガーZ』（1972年）や『機動戦士ガンダム』（1979年）の大ヒットを経て、現在に至るまで多数の作品が制作されている。本展では、30タイトル以上のアニメの造作物や複製、原画やフィギュア、玩具、イラスト、映像などを8章構成で紹介し、日本独自の進化と広がりを見せてきたデザインと映像表現の変遷をたどった。

展示では、ロボットの内部構造を記した透視図や設定資料、大きさを再現した造作物などを通じて「メカニズム」と「サイズ」に焦点をあてており、デザインや設定上の創意工夫がいかに架空のロボットにリアリティを与え、その魅力に結びついたのかを検証する場となった。また、当館独自の企画として、いわき市内に在住する個人コレクターと本展協力者から借用した『超時空要塞マクロス』関連のプラモデルとプラモデルパッケージ計127点を、2階のギャラリー通路に特別展示し好評を得た。大きな造作物が多かったため企画展示室内だけに収まらず、1・2階のロビーも会場として使用し、ショップは市民談話コーナーに設置した。

会場は、熱心なファンをはじめ想定を超える入場者でにぎわい、市内外から訪れた幅広い世代の来場者がアニメの世界を楽しんでいた。会期中の催しとして実施した記念対談とプラモデル作りの実技講座も人気を博し、ロボットアニメの人気ぶりがうかがえた。

会期 2025年6月28日(土)～8月24日(日)
会場 いわき市立美術館 企画展示室1、2およびロビー
主催 いわき市立美術館、福島民報社、福島テレビ
協力 AIC、AICライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE 鉄人PROJECT、シグナル・エムディ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、バンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ビックウエスト、フライングドッグ、Production I.G、メディアアウェイブ、ライツ・イン
監修 山口洋三（オフィスゴンチャロフ）
企画 西日本新聞イベントサービス、ぴあ
企画協力 廣田恵介、タルカス（五十嵐浩司）

【図録データ】

編集 タルカス
構成・執筆 五十嵐浩司
執筆 山口洋三、廣田恵介
谷崎あきら、島田康治、池田元気、井上雄史、赤尾将義、加納遼
写真 加藤文哉、泉山朗士（ボックスグラフ）、高橋章
表紙装丁 植松久典
デザイン 坂入勝
制作 阿部慎一郎、飯塚岬
発行 ぴあ株式会社 中部支社
ぴあ株式会社 本社
印刷・製本 光村印刷
発行日 2023年 9月 9日 初版発行
2024年12月21日 5版発行



●日本の巨大ロボット群像 ―巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現― 出品リスト

作品名など	展示物アイテムなど	材質	数量	W (mm)	H (mm)	D (mm)	版権元／所蔵
■第1章							
機動戦士ガンダム・動くガンダム	映像		1				バンダイナムコフィルムワークス (GFY)
鉄人28号	映像		1				©光プロ／KOBET鉄人PROJECT2023 撮影・編集 泉山朗土
THE NEXT GENERATION パトレイバー 98式AVイングラム	映像		1				東北新社
装甲騎兵ボトムズ・スコープ・ドッグ	映像		1				撮影・編集 泉山朗土
98式AVイングラム	罐形		1	180	400	300	個人蔵 (鬼頭栄作)
■第2章							
	時事バナー (大)	防火トロマットバナー	7	1,350	1,350		
1960 鉄人28号 (実写・白黒)	モノリス	木工+出力貼	1	1,200	2,100	600	©光プロ／松崎プロダクション
1963 鉄人28号 (アニメ・白黒)	モノリス	木工+出力貼	1	1,200	2,100	600	©光プロダクション・エイケン
1980 太陽の使者 鉄人28号 (アニメ・カラー)	モノリス	木工+出力貼	1	1,200	2,100	600	©光プロダクション・TMS
1992 超電動ロボ 鉄人28号 F X (アニメ・カラー)	モノリス	木工+出力貼	1	1,200	2,100	600	©光プロダクション・TMS
2005 実写版『鉄人28号』	モノリス	木工+出力貼	1	1,200	2,100	600	©光プロ
2007 鉄人28号 白昼の残月 (CG)	モノリス	木工+出力貼	1	1,200	2,100	600	©光プロダクション／敷島重工
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第1巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第2巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第3巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第4巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第5巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第6巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第7巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第8巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第9巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第10巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
1976 加藤直之『鉄人28号』 秋田漫画文庫	第11巻カバーイラスト	グアッシュ・紙	1	190	270		作家蔵 (加藤直之)
鉄人28号 (漫画全巻)	復刻版コミックス (大都社刊行)		8	600	210	400	個人蔵 (五十嵐浩司)
超金属 鉄人28号 (1981年)	ポピー		1	380	115	535	個人蔵 (五十嵐浩司)
2005 『鉄人28号』	旧リモートコントロール		1	195	325	260	クロスメディア蔵
2005 『鉄人28号』	新型リモートコントロール		1	180	210	115	クロスメディア蔵
2005 『鉄人28号』	正太郎少年訓練グ ロープ／両手		2	115	150		クロスメディア蔵
2005 『鉄人28号』	カメラアイ(ゴーグル)		1	195	140	220	クロスメディア蔵
2005 『鉄人28号』	パンフレット、チラシ		2	400		300	クロスメディア蔵

作品名など	展示物アイテムなど	材質	数量	W (mm)	H (mm)	D (mm)	版権元／所蔵
舞台版『鉄人28号』	罐形		1	350	120	250	個人蔵（鬼頭栄作）
舞台版『鉄人28号』	オフィシャルプログラム		1	440		300	個人蔵（NES経由）
	アニメージュ（1980年9月）		1	210	10	300	個人蔵（NES経由）
■第3章							
巨大ロボットを巨大に描く 《—1970年代編—》（2023年）	巨大絵画 左	アクリル、鉛筆、サインペン等・画布	1	1,940	2,590		作家蔵（宮武一貴）
	巨大絵画 中央	アクリル、鉛筆、サインペン等・画布	1	1,940	2,590		
	巨大絵画 右	アクリル、鉛筆、サインペン等・画布	1	1,940	2,590		
	宮武氏紹介パネル	アルミ複合板 3 t + インクジェットプリント貼	1	900	1,800		
特別出品／1997年 無敵超人ザンボット 3	イラストボード	グアッシュ・紙	1	545	727	35	作家蔵（宮武一貴）
ゲッターロボ	合体シーンバナー	防火トロマットバナー	3	650	6,000		©ダイナミック企画・東映アニメーション
ゲッターロボ／ゲッターロボG	放送データパネル	段ボール	1	515	728		©ダイナミック企画・東映アニメーション
マジンガーZ	バックパネル	片面木工パネル＋出力	1	7,650	3,000		©ダイナミック企画・東映アニメーション
	マジンガー Z	切出パネル／アルミ複合版	1	1,000	2,640		
	ホバーパイルダー	切出パネル／アルミ複合版	1	1,800	1,230		
	ジェットパイルダー	切出パネル／アルミ複合版	1	1,370	930		
	ジェットスクランダー	切出パネル／アルミ複合版	1	2,520	970		
DX超合金魂 マジンガー Z 50th Anniversary Ver.			1	520	390	560	BANDAI SPIRITS
超合金マジンガーZ	ポピー		1	70	120	50	個人蔵（五十嵐浩司）
DX超合金 勇者ライディーン	ポピー		1	90	150	110	個人蔵（五十嵐浩司）
勇者ライディーン	立体パネル（両面）	木工両面パネル＋出力仕上	3	2,400	2,400	48	©東北新社
	静 岩パネル	ポリランバー＋出力	1	1,030	3,000	12	
	動 ライディーン	ポリランバー＋出力	1	1,710	3,000	12	
	飛 ゴッドバード	ポリランバー＋出力	1	2,330	2,220	12	
鋼鉄ジグ	バックパネル	片面木工パネル＋出力	1	3,600	3,000		©ダイナミック企画・東映アニメーション
	同 ジグ膝上パーツ	切出パネル／アルミ複合版	1	1,250	1,450		
	同 ビッグシューター	切出パネル／アルミ複合版	1	1,600	730		
超電磁ロボ コンバトラーV	フェーズ01	切出パネル／アルミ複合版	1	2,280	1,620		©東映
	フェーズ02	切出パネル／アルミ複合版	1	2,380	2,390		
	フェーズ03	切出パネル／アルミ複合版	1	2,260	1,655		
	フェーズ04	切出パネル／アルミ複合版	1	1,865	1,570		
	フェーズ05	切出パネル／アルミ複合版	1	2,130	2,485		

作品名など	展示物アイテムなど	材質	数量	W (mm)	H (mm)	D (mm)	版権元／所蔵
	フェーズ説明パネル 1～4	アルミ複合板 3 t + 出力	4	500	425		
	フェーズ説明パネル 5	アルミ複合板 3 t + 出力	1	500	500		
	マリンとタンク説明パネル	アルミ複合板 3 t + 出力	1	350	245		
	各バトルマシン説明パネル 1～5 号機	木工+出力貼	5	500	350		
	各バトルマシン説明パネルコンV	木工+出力貼	1	350	500		
■特別展示							
スタジオぬえ	説明パネル	アルポリ+出力	1	750	1,200		
ゼロテスター	設定資料	アルミ複合板 3 t + 出力	1	800	2,200		©東北新社
ゼロテスター	テスター 1 号機・木型模型(1973年頃)	塗料・木	1	166	54	190	個人蔵 (村松正敏)
ゼロテスター	バンダイ・テスター 1 号機		1	400	300	4	個人蔵 (五十嵐浩司)
ゼロテスター	パネル	アルミ複合板 3 t + 出力	1	600	660		
宇宙戦艦ヤマト	設定資料パネル	アルミ複合板 3 t + 出力	1	800	1,800		©東北新社
超時空要塞マクロス	設定資料パネル	アルポリ+出力	1	1,500	750		©1982 BIGWEST
機甲天使ガブリエル	設定資料パネル 上	アルポリ+出力	1	1,500	800		©スタジオぬえ
	設定資料パネル 中	アルポリ+出力	1	1,050	400		
	設定資料パネル 下	アルポリ+出力	1	1,350	1,100		
軌道都市 (2023年)	パネル	木工+出力貼り	1	3,600	1,800		作家蔵 (加藤直之)
	モビルスーツの原点パネル	木工+出力貼り	1	1,200	1,500		
	宇宙の戦士 (新版)		1	50	20	107	個人蔵 (山口洋三)
	ファンタスティック・コレクション		1	345	5	295	個人蔵 (NES経由)
	SFイラストの世界(朝日ソノラマ・昭和53年8月1日号)						
	S-Fマガジン (機動歩兵の5面図) (早川書房・1980年11月臨時増刊号)		1	500	28	210	個人蔵 (NES経由)
	スタジオぬえのデザイン・ノート		1	150	8	210	個人蔵 (NES経由)
機動歩兵疑似着用システム	フォトポイントベース	ステージ木工	1	1,700	100	1,300	協力:加藤直之、ウェーブ、朝比奈祥和
	正面パネル アクリル受柱	柱材ポリ木工	2	1,700	2,200		
	左側面パネル アクリル受柱	柱材ポリ木工	1	1,300	2,200		
	疑似着用システム解説パネル	C P + 出力	1	450	450		
機動歩兵 (2004年※本展出品のために2023年修正)	パネル	木工+出力貼り	1	3,600	1,800		作家蔵 (加藤直之)
宇宙の戦士 (1977年)	複写パネル	木工+出力貼り	1	3,600	2,400		©スタジオぬえ
■第4章							
機動戦士ガンダム	実物ガンダムイメージ (床面フィルム)	床用インクジェット出力+ラミネート	1	10,290	19,032		
機動戦士ガンダム	ガンダムを歩く	床用インクジェット出力+ラミネート	1	900	900		

作品名など	展示物アイテムなど	材質	数量	W (mm)	H (mm)	D (mm)	版権元／所蔵
機動戦士ガンダム	ガンダム部位説明	床用インクジェット出力＋ラミネート	5	600	450		
機動戦士ガンダム	実物大ガンダム武器イメージ (壁面パネル)	防火トロピカル出力	1	19,800	3,800		©創通・サンライズ
機動戦士ガンダム	第1話シーン分析什器セット (白台)	アクリル板＋出力	4	2,400	1,415	900	
機動戦士ガンダム	長い行程を経て成立したガンダムのデザイン 変遷パネル	段ボール	10	515	728		
機動戦士ガンダム	ガンダム放送データサイン		1	257	135		
機動戦士ガンダム	ガンダムDX合体セット		1	370	495	90	個人蔵 (五十嵐浩司)
機動戦士ガンダム	バンダイ模型 1/100ガンダム	アルミ複合板	1	240	200	200	個人蔵 (山口洋三)

■第5章

ルパン三世 PART 2	ロボット兵ラムダ実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	9,400	3,900	100	原作：モンキー・パンチ ©TMS
	ラムダ飛行形態	アルミ複合板＋出力	1	3,000	1,400		
	ラムダデザインパネル	アルミ複合板＋出力	1	1,050	984		
	ラムダ絵コンテ表紙パネル	アルミ複合板＋出力	1	660	984		
	ラムダパネル／発想の原点	アルミ複合板＋出力	1	1,750	730		
	ラムダ絵コンテパネル	アルミ複合板＋出力	1	648	550		
	ラムダパネル	アルミ複合板＋出力	1	1,200	728		
	ラムダパネル	アルミ複合板＋出力	1	1,910	622		
	ルパン三世 PART2放送データサイン	アルポリ	1	1,800	700		
太陽の牙 ダグラム	ダグラム頭部実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	2,760	2,875	300	©サンライズ
	ダグラム肩部実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	1,260	1,430	300	
	コンバットアーマー紹介パネル	木工パネル	1	1,800	1,200		
戦闘メカ ザブングル	レッグタイプ・赤実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	2,465	3,140	100	©創通・サンライズ
	レッグタイプ・緑実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	2,630	2,575	100	
	ウォーカーマシン紹介パネル	木工パネル	1	1,800	1,200		
メガゾーン23	ウォーカーギャリア脚部 実物大パネル	防火トロマトパネル／上下バトン材	1	8,250	4,500		
	ガーランド (バイク形態) 実物大パネル		1	3,960	1,240	100	©AIC ©AICライツ
	ガーランド (ロボット形態) 実物大パネル		1	2,410	3,850	100	
	マニューバスレイブパネル	アルミ複合板＋出力	1	1,135	990		
	マニューバクラフトパネル①	アルミ複合板＋出力	1	947	710		
	マニューバクラフトパネル②	アルミ複合板＋出力	1	1,220	857		
	プロトガーランド	アルミ複合板＋出力	1	2,735	2,775		
	プロトガーランド解説パネル	アルミ複合板＋出力	1	620	290		
	メガゾーン23解説パネル	アルミ複合板＋出力	1	2,050	900		

作品名など	展示物アイテムなど	材質	数量	W (mm)	H (mm)	D (mm)	版權元／所蔵
装甲騎兵ボトムズ	メガゾーン23パネル	アルミ複合板＋出力	1	1,200	400		
	ガーランド搭乗説明パネル	アルミ複合板＋出力	1	1,350	1,260		
	メガゾーン23放送データサイン	アルポリ	1	1,800	700		
	エキサイティングバイク 1985年10月		1	220	8	300	個人蔵（NES経由）
	月刊ニュータイプ		1	455	8	300	個人蔵（NES経由）
	スコープドッグ 実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	2,300	4,000	100	©サンライズ
	スコープドッグ（降着状態）実物大パネル	ポリランバー＋出力	1	2,540	2,590	100	
	アーマード・トルーパー 紹介パネル	木工パネル	1	1,200	1,800		
	モックアップ：スコープドッグ 大河原邦男・1981年頃	塗料・木	1	120	210	120	個人蔵（泉博道）
	タカラ 1／24デュアルモデル スコープドッグ・1983年		1	200	100	120	個人蔵（五十嵐浩司）
	再初期設定：アーマードトルーパー	アルミ複合板＋出力	1	182	257		
■第6章							
マジンガー Z	内部透視図パネル	防火トロマットパネル／上下バトン材、ワイヤー	1	900	2,400		（原作版）©永井豪／ダイナミック企画
ライディーン	内部透視図パネル	防火トロマットパネル／上下バトン材、ワイヤー	1	900	2,400		©東北新社
マクロス（バルキリー）	内部透視図パネル	防火トロマットパネル／上下バトン材、ワイヤー	1	900	2,400		©1982 BIGWEST
エルガイム マークⅡ	内部透視図パネル	防火トロマットパネル／上下バトン材、ワイヤー	1	900	2,400		©創通・サンライズ
	ファイブスター／ゴティックメード解説パネル	アルミ複合板＋出力	1	515	728		
Zガンダム・リックディアス	設定資料パネル	防火トロマットパネル	1	900	3,300		©創通・サンライズ
エルガイム マークⅡ	設定資料パネル	防火トロマットパネル	1	900	2,350		©創通・サンライズ
ツァラトゥストラ アプターブレリンガー	設定資料パネル	防火トロマットパネル	1	2,000	1,350		©創通・サンライズ
レッドミラージュ	設定資料パネル	防火トロマットパネル	1	2,000	1,350		©EDIT
エルガイム	設定資料パネル	防火トロマットパネル	1	1,850	2,350		©創通・サンライズ
ファイブスター物語、花の詩女 ゴティックメード	カイゼリン骨格	透明アクリル5 t 切抜＋裏貼	4				©EDIT
	カイゼリン本体	アルポリ＋出力・切出し	1	1,500	2,800		
ファイブスター物語	レッドミラージュ	アルポリ＋出力・切出し	1	2,400	1,150		©EDIT
ファイブスター物語	ツァラトゥストラ	アルポリ＋出力・切出し	1	2,400	1,150		©EDIT
勇者シリーズ	映像		1				トップをねらえ！ ©BANDAI VISUAL・JVC Entertainment・GAINAX その他 ©サンライズ
	G20ガンダム・トリビュートマガジン		1	210	5	300	個人蔵（山口洋三）

作品名など	展示物アイテムなど	材質	数量	W (mm)	H (mm)	D (mm)	版権元／所蔵
	1／72メカニック・モデルガンダム		1	160	295	110	個人蔵（山口洋三）
	1／48デュアルモデルコンバットアーマードグラム		1	360	185	250	個人蔵（五十嵐浩司）
	1／100フルアクション エルガイム		1	160	250	110	個人蔵（山口洋三）
	1／100ドラグナー1型カスタム		1	245	200	290	西日本新聞イベントサービス
	PERFECT GRADE UNLEASHED 1／60 RX-78-2 ガンダム		1	297	320	210	個人蔵（NES経由・吉高秀典）

■第7章

巨大ロボットを巨大に描く《―1990年代編―》（2023年）	巨大絵画 左	アクリル、鉛筆、サインペン等・画布	1	1,940	2,590		作家蔵（宮武一貴）
	巨大絵画 中央	アクリル、鉛筆、サインペン等・画布	1	1,940	2,590		
	巨大絵画 右	アクリル、鉛筆、サインペン等・画布	1	1,940	2,590		
宮武一貴 インタビュー 地球防衛企業ダイ・ガード	映像		1				
	パネル	木工パネル	1	5,400	3,000		©XEPEC・フライングドッグ／創通
勇者王ガオガイガー	ガオガイガーパネル	アルミ複合板＋出力	3				©サンライズ
	各メカサイン	アルポリ＋出力	8	380	300		
機動戦艦ナデシコ（ゲキガンガー3）	センターパネル	木工＋出力	1	2,400	2,700		©Production I.G／ナデシコ製作委員会・テレビ東京
	サイドパネル	木工＋出力	2	1,800	1,800	150	
THEビッグオー ジャイアントロボ	切出しパネル	木工＋出力	1	6,620	1,745	200	©サンライズ
	切り出しパネル	アルポリ＋出力	3				©光プロ／ショウゲート
	映像		1				
	ラフ画	鉛筆・マーカー・ペン	12	364	257		個人蔵
	セル画		2	265	240		個人蔵

■最終章

識者インタビュー パネル	木工＋出力	6	1,800	2,400		
廣田氏追悼パネル	木工＋出力	1	515	728		

●特別展示 出品リスト

No.	展示品名 ※すべて個人蔵（No.1～126：石川潤、No.127：五十嵐浩司）	製作
■プラモデルパッケージ		
1	1／100 戦術戦闘用バトロイド バルキリー	アライ
2	1／100 重砲攻撃型デストロイド トマホーク	イマイ
3	1／100 対空用デストロイド ディフェンダー	アライ
4	1／100 高級指揮官タイプワンマン戦闘ボッド グラージ	イマイ
5	1／100 攻撃用デストロイド スパルタン	アライ
6	1／100 重バトロイド アーマード・バルキリー	イマイ
7	1／100 標準量産タイプワンマン戦闘ボッド リガード	アライ
8	1／200 超重量級デストロイド デストロイド・モンスター	イマイ

No.	展示品名	製作
9	1/8000 超時空要塞 マクロス要塞艦	アライ
10	1/8000 マクロス強攻型	イマイ
11	1/72 戦術戦闘用バトロイド バルキリー	イマイ
12	1/72 重砲攻撃型デストロイド トマホーク	アライ
13	1/72 対空用デストロイド ディフェンダー	イマイ
14	1/72 高級指揮官タイプ ワンマン戦闘ポッド グラージ	アライ
15	1/72 攻撃用デストロイド スバルタン	イマイ
16	1/72 重バトロイド アーマード・バルキリー	アライ
17	1/72 標準量産タイプ ワンマン戦闘ポッド リガード	イマイ
18	1/160 超重量級デストロイド デストロイド・モンスター	アライ
19	1/5000 超時空要塞 マクロス要塞艦	イマイ
20	1/5000 超時空要塞 マクロス強攻型	アライ
21	1/72 バトロイド ガウォーク・バルキリー	イマイ
22	1/100 大気圏外近接防御型ファランクス	イマイ
23	1/144 ゼントラーディ軍 パワードスーツ ヌージャデル・ガー	イマイ
24	1/144 ゼントラーディ軍 婦人部隊バトルスーツ クェドラン・ロー	イマイ
25	1/144 戦術戦闘用バトロイド バルキリー 4タイプ VF-1A / VF-1J / VF-1S	イマイ
26	1/100 戦術戦闘用バトロイド バルキリー ロイフォッカーズスペシャル	アライ
27	1/720 ゼントラーディ軍 司令部偵察ポッド ケル・カリア (バググアイ)	イマイ
28	1/100 戦術戦闘用バトロイド バルキリー VF-1D (複座タイプ)	アライ
29	1/72 VF-1A 標準型 ガウォーク・バルキリー	イマイ
30	1/100 戦術戦闘用バトロイド バルキリー VF-1A (量産タイプ)	アライ
31	1/12 マクロスの主人公 一条輝	イマイ
32	1/100 戦術戦闘用バトロイド ガウォーク・バルキリー VF-1J	アライ
33	1/12 マクロスのアイドル リン・ミンメイ	イマイ
34	1/72 戦術戦闘用バトロイド 可変バルキリー VF-1J	イマイ
35	1/100 戦術戦闘用バトロイド ガウォーク VF-1D(複座タイプ)	アライ
36	1/72 VF-1S ガウォーク・バルキリー ロイ・フォッカー スペシャル	イマイ
37	1/100 戦術戦闘用バトロイド ガウォーク VF-1A(標準タイプ)	アライ
38	1/12 マクロス戦闘部隊チーフパイロット ロイ・フォッカー少佐	イマイ
39	1/100 戦術戦闘用バトロイド ファイター・バルキリー VF-1J	アライ
40	1/12 マクロスのブリッジ主任オペレーター 早瀬未沙	イマイ
41	1/72 重バトロイド アーマード・バルキリー VF-1A (標準タイプ)	アライ
42	1/100 ゼントラーディ軍リガードタイプ ワンマン偵察ポッド	アライ
43	1/72 VF-1S バトロイド・バルキリー ロイ・フォッカー スペシャル	イマイ
44	1/72 VF-1A標準型 バトロイド・バルキリー	イマイ
45	1/72 戦術戦闘用バトロイド 可変バルキリー VF-1S	イマイ
46	1/20000 ゼントラーディ軍ブリタイ艦隊旗艦 ブリタイ艦	アライ
47	1/72 戦術戦闘用バトロイド 可変バルキリー VF-1A	イマイ
48	1/20000 ゼントラーディ軍中型艦 カムジン艦	アライ
49	1/100 重バトロイド《スカル1》VF-1Sアーマード・バルキリー	イマイ
50	1/20000 ゼントラーディ軍惑星揚陸強襲艦 大型LST	アライ
51	1/100 重バトロイド VF-1A標準型アーマード・バルキリー	イマイ
52	1/20000 ゼントラーディ 旗艦 標準戦艦	アライ
53	1/72 大気圏外専用・ブースター装着タイプ VF-1Sスーパー・バルキリー	イマイ
54	1/72 重バトロイド アーマード・バルキリー VF-1S ロイフォッカー・スペシャル	アライ

No.	展示品名	製作
55	1/100 マクロス・ファクトリー	イマイ
56	1/100 戦術戦闘用バトロイド VF-1S スーパーファイター	アリイ
57	1/72 戦術戦闘用VF-1Jバトロイド・バルキリー マックス専用タイプ	イマイ
58	1/100 戦術戦闘用バトロイド VF-1S スーパーガウーク	アリイ
59	1/72 戦術戦闘用VF-1Jバトロイド・バルキリー ミリア専用タイプ	イマイ
60	1/72 戦術戦闘用バトロイド 可変バルキリー マックス専用タイプ	イマイ
61	1/72 戦術戦闘用バトロイド 可変バルキリー ミリア専用タイプ	イマイ
62	1/100 ゼントラーディ軍・装甲宇宙服 カムジン専用タイプ	イマイ
63	1/100 大気圏外専用・ブースター装着タイプ VF-1Sスーパー・バトロイド	イマイ
64	1/100 戦術戦闘用バトロイド 可変スーパーバルキリー VF-1S	アリイ
65	1/170 バルキリー 4点セット (A)	イマイ
66	1/170 バルキリー 4点セット (B)	イマイ
67	1/72 戦術戦闘用可変機 VF-1D バトロイド・バルキリー (複座型)	イマイ
68	1/72 戦術戦闘用可変機 VF-1D ガウーク・バルキリー (複座型)	イマイ
69	1/170 マクロス 4 タイプ	アリイ
70	1/72 戦術戦闘用バトロイド (複座型) 可変バルキリー VF-1J	イマイ
71	1/170 マクロス 4 タイプ	アリイ
72	1/100 アーマード・ファクトリー	イマイ
73	1/20 マクロス・ガンボッドGU-11	イマイ
74	1/200 バトロイド・バルキリー	ニチモ
75	1/200 ガウーク・バルキリー	ニチモ
76	1/200 アーマード・バルキリー	ニチモ
77	1/200 近接戦闘型デストロイド・スパルタン	ニチモ
78	1/200 対空迎撃型デストロイド・ディフェンダー	ニチモ
79	1/200 重装砲撃型デストロイド・トマホーク	ニチモ
80	1/15000 超時空要塞艦 マクロス SDF-1	ニチモ
81	1/15000 マクロス SDF-1 トランスフォーメーション型	ニチモ
82	1/200 スペシャル バトロイド・バルキリー	ニチモ
83	1/200 スペシャル ガウーク・バルキリー	ニチモ
84	1/200 ワンマン戦闘ボッド・リガード	ニチモ
85	1/200 偵察型戦闘ボッド・リガードスカウト	ニチモ
86	1/200 戦術兵士用バトロイド・バルキリー VF-1A	ニチモ
87	1/200 戦術兵士用ガウーク・バルキリー VF-1A	ニチモ
88	1/200 指揮官ボッド カムジン専用グラージ	ニチモ
89	1/200 大型ミサイル装備戦闘ボッド・リガード	ニチモ
90	1/200 小型ミサイル装備戦闘ボッド・リガード	ニチモ
91	1/200 ファイターバルキリー VF-1J(一条輝スペシャル)	ニチモ
92	1/200 ファイターバルキリー VF-1A(一般戦術兵士タイプ)	ニチモ
93	1/200 複座型バトロイドバルキリー VF-1D	ニチモ
94	1/200 複座型ガウークバルキリー VF-1D	ニチモ
95	1/200 ファイターバルキリー VF-1S(ロイフォッカースペシャル)	ニチモ
96	1/200 マックス・スペシャル (装甲型)	ニチモ
97	1/200 アーマード装備ロイフォッカースペシャル	ニチモ
98	1/200 戦術兵士型アーマードV1S	ニチモ
99	1/200 ミリア・スペシャル (装甲型)	ニチモ
100	1/200 バトロイド型マックス・スペシャル	ニチモ

No.	展示品名	製作
101	1/200 ガウオーク型マックス・スペシャル	ニチモ
102	1/200 ミリア・スペシャルVF-1J	ニチモ
103	1/200 ガウオーク型ミリア・スペシャル	ニチモ
104	1/200 スーパーファイターバルキリー VF-1S(ロイフォッカーズスペシャルタイプ)	ニチモ
105	1/200 スーパーファイターバルキリー VF-1A(一般戦術兵士用)	ニチモ
106	1/200 スーパーファイターバルキリー VF-1J (バルキリー隊中隊長機タイプ)	ニチモ
107	1/200 ファイターバルキリー VF-1J (青いイナズマ・マックス型)	ニチモ
108	1/200 ファイターバルキリー VF-1J (赤いイナズマ・ミリア型)	ニチモ
109	1/200 スーパーファイターバルキリー VF-1J (青いイナズマ・マックススペシャル)	ニチモ
110	1/200 スーパーファイターバルキリー VF-1J (赤いイナズマ・ミリアスペシャル)	ニチモ
111	1/200 スーパーバトロイドVF-1S	ニチモ
112	1/200 スーパーガウオークバルキリー VF-1S (ロイフォッカーズスペシャルタイプ)	ニチモ
113	1/200 スーパーバトロイドVF-1A	ニチモ
114	1/200 スーパーガウオークバルキリー VF-1A	ニチモ
115	1/200 スーパーバトロイドVF-1J	ニチモ
116	1/200 スーパーバトロイドVF-1J(指揮官専用バルキリー)	ニチモ
117	1/200 マックスバトロイド	ニチモ
118	1/200 スーパーガウオークバルキリー VF-1J (青いイナズマ・マックススペシャル)	ニチモ
119	1/200 ミリアバトロイド	ニチモ
120	1/200 スーパーガウオーク ミリアスペシャル	ニチモ
121	1/200 ロイフォッカーバルキリー 3 タイプ	ニチモ
122	1/200 一条輝バルキリー 3 タイプ	ニチモ
123	1/200 スーパーバトロイド 高機動バトロイド 3 タイプ	ニチモ

■プラモデル・玩具

124	1/100 アーマードバルキリー VF-1J プラモデル (完成品)
125	1/100ファイターバルキリー VF-1J プラモデル (完成品)
126	1/100バトロイドバルキリー VF-1J プラモデル (完成品)
127	1/55バトロイド・バルキリー VF-1J 玩具

やすらぎの近代絵画 —ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで—

オフィスコーヒーやインテリア、リゾートなどの事業を幅広く展開しているユニマットグループの創業者・高橋洋二氏が、長年にわたり収集し築き上げた西洋美術の一大コレクションから、選りすぐった精華を紹介する展覧会。「やすらぎの美」をテーマに、ジャン＝フランソワ・ミレー（1814-1875）などのバルビゾン派から、ピエール＝オーギュスト・ルノワール（1841-1919）やエドガー・ドガ（1834-1917）ら印象派、藤田嗣治（1886-1968）などのエコール・ド・パリ、そしてアメリカの国民的画家アンド

リュー・ワイエス（1917-2009）を含めた近代絵画87点を展示した。

関連の催しとして近・現代日本美術を専門とする講師を招いた講演会、出品作家と同時代の音楽を演奏するピアノコンサート、美術館ドキュメンタリー映画の鑑賞会を開催したほか、鑑賞ガイド「出品作に学ぶ西洋美術用語集」を配布し、来場者の鑑賞の一助とした。来場者アンケートでは、近代西洋美術の主要な様式を網羅したコレクションを身近に鑑賞できることへの好意的な意見が多く寄せられた。

会 期 2025年9月13日(土)～11月3日(月・祝)

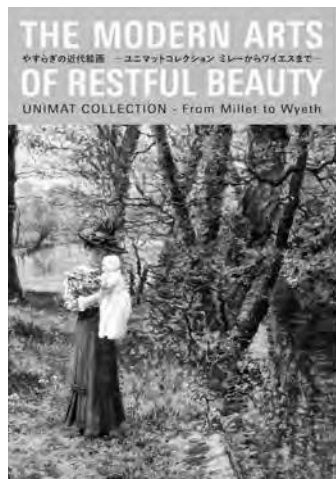
会 場 いわき市立美術館 企画展示室1、2

主 催 いわき市立美術館

協 力 ユニマットグループ

企 画 神戸新聞社

図 録 『やすらぎの近代絵画—ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで—』神戸新聞社編集・発行、2025年。



●やすらぎの近代絵画―ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで― 出品リスト

No.	作家名	作家生没年	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質
■第1章 田園を描く						
1	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	洗濯物を干す女	1854-1856	26×35	油彩／板
2	テオドール・ルソー	1812-1867	フォンテーヌブローの森	1855-1858	64.8×104.1	油彩／キャンバス
3	テオドール・ルソー	1812-1867	夕暮れ	不詳	43.5×64	油彩／キャンバス
4	コンスタン・トロワイヨン	1810-1865	牧羊犬と羊	不詳	34×54	油彩／キャンバス
5	コンスタン・トロワイヨン	1810-1865	羊飼ひ	不詳	46×55	油彩／キャンバス
6	シャルル＝フランソワ・ドービニー	1817-1878	浜辺の牛	1874	54×81	油彩／キャンバス
7	ル・シュヴァリエ・アルフレッド・ド・クニッフ	1819-1885	森はずれの牧草地	不詳	90.5×122.5	油彩／キャンバス
8	ナルシス＝ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807-1876	樹木のある風景	不詳	23.9×32.2	油彩／板
9	ナルシス＝ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807-1876	森の空き地	不詳	77.5×100.4	油彩／板
10	アレクサンドル・ドゥフォー	1826-1900	養鶏場の春	不詳	112×149.5	油彩／キャンバス
11	イポリット・カミーユ・デルピエ	1842-1910	ヨンス近くの岸辺	不詳	32.4×60	油彩／板
12	マリー＝ヴィクトール＝エミール・アサンバール	1846-1921	洗濯場	不詳	59.5×73	油彩／キャンバス
13	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロ	1796-1875	ジュイコットの想い出	1865-1870	65×106	油彩／キャンバス
14	ジュール・デュブレ	1811-1889	沼地の牛	不詳	60.5×73.5	油彩／キャンバス
15	レオン＝ヴィクトール・デュブレ	1816-1879	湿地	1854	36.5×61.5	油彩／キャンバス
16	ウージェーヌ・アントワース＝サミュエル・ラヴィエイユ	1847-1907	花咲く木のある風景	1873	34.3×44.4	油彩／キャンバス
17	ギュスターヴ・クールベ	1819-1877	雪の断崖	1870	54×65.5	油彩／キャンバス
18	ピエール・エマニュエル・ダモア	1847-1916	農場の入口	1893	50.5×73.5	油彩／キャンバス
19	ジャン＝フランソワ・シモン	1783-没年不詳	日没	不詳	58×77	油彩／キャンバス
20	ヨセフ・ヨドクス・モーレンハウト	1801-1874	月の光	不詳	107×75.5	油彩／ボード
21	マリー＝フランソワ・フィルマン＝ジラル	1838-1921	蹄鉄工	1914	60.5×81	油彩／キャンバス
22	マリー＝フランソワ・フィルマン＝ジラル	1838-1921	散歩	不詳	65.5×92.5	油彩／キャンバス
23	カミーユ・ボンボワ	1883-1970	醸造所に見える風景	c.1930	50×65.5	油彩／キャンバス
24	カミーユ・ボンボワ	1883-1970	サン＝キュキュファの池	c.1930	60×92	油彩／キャンバス
26	アントワース・ヴォロン	1833-1900	騎士	不詳	45×54.3	油彩／キャンバス
27	ヴィクトール・ジルスール	1867-1939	画家	不詳	27×34	油彩／キャンバス
28	モーリス・ユトリロ	1883-1955	パニユーの教会	1925	60×72.5	油彩／キャンバス
29	荻須高德	1901-1986	ノートルダム寺院	1937	87×115	油彩／キャンバス
30	荻須高德	1901-1986	タバコ屋	不詳	65×81	油彩／キャンバス
■第2章 裸婦像の魅惑						
31	セバスティアン・ブルドン	1616-1671	スザンヌと長老たち	不詳	131×132.5	油彩／キャンバス
32	ポール・シャバ	1869-1937	水浴する女達	不詳	81×155.7	油彩／キャンバス
33	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロ	1796-1875	愛の秘密	1855-1856	33×61	油彩／キャンバス

No.	作家名	作家生没年	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質
34	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	眠れるニンフとサテュロス	1846-1847	38.1×30.3	油彩／キャンバス
35	ジャン＝ジャック・エンネル	1829-1905	横たわる裸婦	不詳	69.5×93.5	油彩／キャンバス
36	ジャン＝ジャック・エンネル	1829-1905	マグダラのマリヤ	不詳	43×61.5	油彩／キャンバス
37	エマニュエル・ベンネル	1836-1896	森の中の裸婦	1880	182×91	油彩／キャンバス
38	レオン・フィリペ	1843-1906	花と娘	1876	208×149	油彩／キャンバス
39	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	1836-1904	オンディーヌ	c.1880	37×45	油彩／キャンバス
40	オーギュスト・ロダン	1840-1917	裸婦像	不詳	22×30	鉛筆・水彩／紙
41	ジャン＝パティスト・アドルフ・ジルペール	1803-1889	真紅の絹に寄りそう裸婦	不詳	193×128.5	油彩／キャンバス
42	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	泉（横たわる裸婦）	1905	50.2×117.6	油彩／キャンバス
43	レオン・ウユー	1856-1940	水浴する女	不詳	163×134	油彩／キャンバス
44	アンドレ・ドラン	1880-1954	肩脱ぎの女	1928-1929	100×81	油彩／キャンバス
45	藤田嗣治	1886-1968	バラ	1922	81×65	油彩／キャンバス
46	藤田嗣治	1886-1968	長い髪のユキ	1923	100×65	油彩／キャンバス
47	藤田嗣治	1886-1968	横たわる裸婦（ユキ）	1924	54×73	油彩／キャンバス
48	藤田嗣治	1886-1968	2人の裸婦	1926	50×73	油彩／キャンバス
49	藤田嗣治	1886-1968	横たわる裸婦（マドレーヌ）	1932	69×99	油彩／絹
50	藤田嗣治	1886-1968	猫	1939	48.5×57.5	墨・彩色／絹
51	加山又造	1927-2004	裸婦	1978	115×80	着彩／紙本

■第3章 さまざまな人物表現

52	レオン・リシェ	1847-1907	婦人の肖像	不詳	73.2×51.5	油彩／キャンバス
53	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	フェリックス＝ピアネメ・ファルダンの肖像	1841	73.3×60.6	油彩／キャンバス
54	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	犬を抱いた少女	1844-1845	65.5×54.5	油彩／キャンバス
55	カミーユ・ヴァン・カンブ	1834-1891	真珠の首飾り	不詳	70×54	油彩／キャンバス
56	カミーユ・ヴァン・カンブ	1834-1891	船上のハルヴァン家の人々	不詳	63×94	油彩／ボード
57	ジャン＝パティスト・カミーユ・コロ	1796-1875	農家の娘たち	1845-1855	38.7×24.4	油彩／キャンバス
58	アンゼルム・フォイエール パッハ	1829-1880	アレゴリー 若い時と年老いた時	不詳	158×104.5	油彩／キャンバス
59	フランソワ・ブーシェ	1703-1770	勝利のクピド	不詳	60×80	油彩／キャンバス
60	ジャック＝ルイ・ダヴィッド	1748-1825	ベリサリウスと子供	c.1780	65.9×78.8	油彩／キャンバス
61	ウジェーヌ・ドラクロワ	1798-1863	フォンテーヌブローのクリスティース	c.1844	31.5×39.5	油彩／キャンバス
62	チャールズ・フレデリック・ローコック	1878-1922	屏風の前の女	1883	126.5×76	油彩／キャンバス
63	エドガー・ドガ	1834-1917	4人の踊り子たち	1892-1895	47.6×60	パステル／紙
64	エドガー・ドガ	1834-1917	ルイ・ルアール夫妻の肖像のための習作	1904	110×99	パステル／カルトン
65	エドガー・ドガ	1834-1917	梳る女	1892-1895	73×83	パステル／紙
66	エドガー・ドガ	1834-1917	座った踊り子	不詳	40×26	コンテクレオン／紙
67	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	花束	1877	84.8×65.8	油彩／板
68	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	母と子（アリーヌと息子ピエール）素描	c.1885	47×34.5	鉛筆／紙

No.	作家名	作家生没年	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質
69	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	母子像 (アリーヌと息子ピエール)	1886	81×65	油彩／キャンバス
70	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	髪を結う少女	1896	55×46.5	油彩／キャンバス
71	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	1864-1901	メイ・ペルフォート嬢	1895	34×25	グアッシュ／カルトン
72	ジョルジュ＝アンリ・ルオー	1871-1958	聖書による風景	不詳	24×30	油彩／板
73	アメデオ・モディリアーニ	1884-1920	ルニア・チェホフスカの肖像	1919	54.5×45.8	油彩／カルトン
74	キース・ヴァン・ドンゲン	1877-1968	婦人の肖像	不詳	73×60	油彩／キャンバス
75	アンドレ・ドラン	1880-1954	バラ	1930	45.7×54.5	油彩／キャンバス
76	アンドレ・ドラン	1880-1954	女性像	1934-1939	42×31	油彩／キャンバス
77	シャイム・スーティン	1893-1943	ブルターニュの婦人	不詳	27×18.5	油彩／カルトン
78	ラウル・デュフィ	1877-1953	モーツァルト	1915	81×65	油彩／キャンバス
79	ラウル・デュフィ	1877-1953	ルーディネスコ夫人の肖像 習作	c.1934	66.5×47.5	鉛筆／紙
80	ラウル・デュフィ	1877-1953	ルーディネスコ夫人の肖像	1934	146×97	油彩／キャンバス

■第4章 ワイエスの世界

81	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	ブラックベリーピッカー	1943	73.0×121.9	テンペラ／メゾナイト
82	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	母の生誕地	1943	50.8×91.4	テンペラ／板
83	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	木に懸かった大鎌	1958	73.7×52	水彩
84	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	ミルドッグ	1958	26×56	水彩・ドライブラシ／紙
85	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	シルバーコーヴ	1937	61.0×105.4	テンペラ／板
86	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	四羽のからす	1948	61×43	テンペラ
87	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	ガムの木	1958	55.2×76.2	水彩／紙
88	アンドリュウ・ワイエス	1917-2009	ヌード	1984	46×60.9	水彩／紙

※カタログ No. 25 は都合により不出品となりました。

コレクションの輝き

今回のコレクションを用いた企画では、現代美術が親しみやすくなるように、子どもの頃に風景や友達を描いたことがある誰もが、馴染みやすい「風景」と「人間」をキーワードに、展示構成を大きく二つに分け、分かりやすいような写実的な絵画から、少し謎めいた表現まで多彩な作品を展示した。鑑賞の手引きとなるように、各作品には96字のコメントを作品脇に掲示した。また、各作家の展覧会カタログ等を閲覧できるようにした。

会場では、来場者が展示作品の中からイチオシの1点を選ぶことで能動的な鑑賞につながるように、投票と掲示の場を設けた。こうしたアプローチにより、現代美術への苦手意識がやわらぎ、ひとりひとりの美術家の個性が輝く作品を鑑賞する機会になるとともに、現代美術への

興味、関心が広がっていくことを意図した。

このイチオシ企画では、893票の投票があったが、これは観覧者1275人のうち約70%の人が投票したことになる。そして驚かされたのは、ほとんどの方がその作品を選んだ理由を書いていたことであり、しかも熱心に書かれた方が多かった。

アンケートの結果などからは、「投票があったのでいつもより集中して鑑賞できて良かった」、「イチオシを選ぶという鑑賞のしかたが、とても楽しかったです。他の方の感想も興味深かった」などの感想が寄せられ、イチオシ企画は好評であった。作品を比較しながらどの1点が良いか選ぶ姿勢で鑑賞するのは、展覧会を楽しむひとつの有効な方法となりうると思われた。

会 期 2025年11月15日(土)～12月14日(日)

会 場 いわき市立美術館 企画展示室 1、2

主 催 いわき市立美術館



●コレクションの輝き 出品リスト

No.	作家名（生没年）	作品名	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横cm)	備考
【風景】						
1	大森義夫（1900-1978）	銚子外川風景	1929	油彩・板	24.0×33.0	石川強氏より寄贈
2	若松光一郎（1914-1995）	漁港	不詳	油彩・板	15.5×22.7	中川素直氏より寄贈
3	若松光一郎（1914-1995）	風景	1944頃	木炭・紙	31.0×41.2	中川素直氏より寄贈
4	若松光一郎（1914-1995）	霊山	1943	油彩・カンヴァス	38.0×43.0	中川素直氏より寄贈
5	若松光一郎（1914-1995）	夕景	1945	油彩・カンヴァス	31.5×41.0	中川素直氏より寄贈
6	若松光一郎（1914-1995）	五月のヤマ	1957	油彩・カンヴァス	50.0×72.7	作家より寄贈
7	若松光一郎（1914-1995）	ズリ山雪景	1956	油彩・カンヴァス	64.0×145.5	
8	中谷泰（1909-1993）	炭坑町	1956	油彩・カンヴァス	91.0×100.0	
9	若松光一郎（1914-1995）	「スケッチブック（1970-71）」より	1970-71	鉛筆、ペン、水彩・紙	16.0×23.2	中川素直氏より寄贈
10	若松光一郎（1914-1995）	「スケッチブック（1971）」より	1971	鉛筆、ペン、水彩・紙	13.9×17.5	中川素直氏より寄贈
11	若松光一郎（1914-1995）	「スケッチブック（1979）」より	1979	水彩・紙	22.0×14.8	中川素直氏より寄贈
12	若松光一郎（1914-1995）	「スケッチブック（1979）」より	1979	木炭、コンテ、ペン、クレヨン、水彩・紙	17.6×24.7	中川素直氏より寄贈
13	佐藤忠良（1912-2011）	常磐炭畠・煙突	1956	コンテ、ボールペン、水彩・紙	21.0×21.0	
14	若松光一郎（1914-1995）	古河好間炭畠ズリ山風景	1956	コンテ、水彩、インク・紙	25.8×360	若松紀志子氏より寄贈
15	中谷泰（1909-1993）	炭坑にて3	1956	鉛筆・紙	32.0×40.8	作家より寄贈
16	斎藤清（1907-1997）	霊峰（17）一秋・A	1980	木版・紙	45.5×61.3	作家より寄贈
17	若松光一郎（1914-1995）	桜島	1974	水彩・紙	45.9×60.5	中川素直氏より寄贈
18	村山正吉（1914-1950）	風景A	1939 頃	油彩・カンヴァス	129.0×161.0	大津漁業協同組合より寄贈
19	山野辺日出男（1940-2007）	壁（蝕）	1980	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	鈴木修氏より寄贈
20	松田松雄（1937-2001）	風景（堤）	1972	油彩・カンヴァス	33.4×55.5	佐藤繁忠氏より寄贈
21	山野辺英明（1964-）	Through the Clouds	2024	アクリル彩・カンヴァス	227.0×145.0	【特別出品、作家蔵】
22	クリスト（1935-2020）	ラージ・ヴァレー・カーテン	1971	ドローイング、カラージュ・紙	91.6×243.2	
23	アラン・ダーカンジェロ（1930-1998）	プロポジション#5	1966	アクリル彩・カンヴァス	153.0×153.0	
24	ジョーン・ミッチェル（1926-1992）	紫色の木	1964	油彩・カンヴァス	161.8×114.0	
25	マーク・ボイル（1934-2005）	ロンドン市街ー赤い石畳の研究	1977-80	彩色ファイバークラス	183.0×183.0	
26	吉田重信（1958-）	1999年4月30日、Bordeaux	1999	映像	(50分22秒)	【特別出品、作家蔵】
27	ジュゼッペ・ペノーネ（1947-）	川になる 3	1992	大理石	各30.0×40.0×30.0	

No.	作家名（生没年）	作品名	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横cm)	備考
【人間】						
28	アントニー・ゴームリー (1950-)	見ることを学んでいる	1991	鉛、ファイバーグラス	198.1(h)×48.3 ×27.9	
29	安藤榮作（1961-）	宇宙のトルソ	2024	楠	47.0×21.0×12.5	新妻英正氏より寄贈
30	（猪熊弦一郎、荻太郎、風間完、佐藤忠良）	「すまい・海石絵のコレクション（全28点）」より、5、6、10、11、12、14、15、16	1989頃- 2015	石に彩色	長径4.6～16.5	山崎保寿氏より寄贈
31	熊坂太郎（1910-1992）	自画像	不詳	インク・紙	38.7×29.8	熊坂行夫氏より寄贈
32	田口安男（1930-2024）	自画像	1954頃	鉛筆・紙	36.3×27.6	作家より寄贈
33	若松光一郎（1914-1995）	自画像	1930年代	油彩・板	33.0×24.0	中川素直氏より寄贈
34	若松光一郎（1914-1995）	素直1歳	1949	油彩・板	33.0×23.7	中川素直氏より寄贈
35	若松光一郎（1914-1995）	素直3歳	1952頃	油彩・板	33.0×23.8	中川素直氏より寄贈
36	若松光一郎（1914-1995）	素直4歳	1953	油彩・板	27.4×22.0	中川素直氏より寄贈
37	若松光一郎（1914-1995）	逆光の自画像	1946	油彩・カンヴァス	45.0×38.0	若松紀志子氏より寄贈
38	若松光一郎（1914-1995）	人物（N像）	1946	油彩・カンヴァス	91.0×72.5	若松紀志子氏より寄贈
39	吉田富美（1907-2009）	妻の像	1964	油彩・カンヴァス	140.0×110.0	
40	石井實（1931-）	父	1963	油彩・カンヴァス	162.0×130.5	作家より寄贈
41	鈴木芳子（1929-1998）	詩人K氏夫妻の肖像	1982頃	顔料・紙	116.5×91.0	鈴木実氏より寄贈
42	若松光一郎（1914-1995）	石炭をはこぶ女たち	1956	油彩・カンヴァス	145.5×118.0	若松紀志子氏より寄贈
43	佐藤忠良（1912-2011）	常磐の大工	1956	セメント	21.5×14.5×23.0	作家より寄贈
44	鈴木新夫（1915-1980）	橋のある風景	1966	油彩・カンヴァス	97.5×145.5	白石みどり氏・鈴木まりこ氏より寄贈
45	松田松雄（1937-2001）	風景（民-A）	1977	油彩・カンヴァス	162.0×162.0	
46	工藤哲巳（1935-1990）	遺伝染色体の中の散歩	1979	鳥籠、木、プラスチック、糸ほか	33.5×18.5× 28.0	
47	イケムラレイコ（1951-）	深い赤に臥す	2004	油彩・カンヴァス	60.0×80.0	
48	田口安男（1930-2024）	ぬけ変わりの季節	1977-	テンペラ・パネル	120.0×91.0	作家より寄贈
49	井上長三郎（1906-1995）	葬送曲	1947	油彩・カンヴァス	97.4×130.4	
50	浜田知明（1917-2018）	初年兵哀歌（歩哨）	1954	エッチング、アクアチント・紙	24.0×16.2	
51	浜田知明（1917-2018）	刑場（A）	1954	エッチング、アクアチント・紙	24.5×18.3	
52	浜田知明（1917-2018）	刑場（B）	1954	エッチング、アクアチント・紙	22.0×10.6	
53	浜田知明（1917-2018）	風化する街（A）	1977	アクアチント・紙	31.0×23.2	
54	浜田知明（1917-2018）	行きどまり	1981	エッチング、アクアチント・紙	18.7×21.0	
55	浜田知明（1917-2018）	みられている	1982	エッチング、アクアチント・紙	20.0×23.0	
56	副田高行（1950-）、※写真：石内都（1947-）	「ヒロシマ・アピールズ」ポスター 2024 遺品が訴えるもの	2024	オフセット・紙	103.0×72.8	新妻秀雄氏より寄贈

No.	作家名 (生没年)	作品名	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横cm)	備考
57	マルク・シャガール (1889-1985)	版画集「サーカス」より 2 自 転車乗りたち	1967	リトグラフ・紙	42.4×32.6	
58	ジョルジュ・ルオー (1871-1958)	版画集「流れる星のサーカス」 より 10 親代々の旅芸人	1935	アクアチント・紙	30.5×20.3	
59	ジョルジュ・ルオー (1871-1958)	版画集「流れる星のサーカス」 より 17 眠れ、よい子よ	1935	アクアチント・紙	30.8×21.3	
60	パブロ・ピカソ (1881-1973)	ジャクリース	1959	リノカット・紙	64.0×52.8	
61	パブロ・ピカソ (1881-1973)	母と踊り子と音楽家	1959	リノカット・紙	64.0×53.0	
62	アンリ・マティス (1869-1954)	版画集「JAZZ」より 2 サー カス	1947	ステンシル・紙	36.0×55.0	
63	アンリ・マティス (1869-1954)	版画集「JAZZ」より 12 水族 館の遊泳者	1947	ステンシル・紙	40.5×62.5	
64	アンソニー・グリーン (1939-2023)	パッション II	1981	油彩・板・カンヴァス	160.0×160.0	
65	ホルスト・アンテス(1936-)	家族	1981	アクリル彩、油彩・カ ンヴァス	130.5×197.0	
66	カレル・アペル (1921-2006)	黄色い帽子	1964	油彩・カンヴァス	81.0×65.0	
67	ピエール・アレシンスキー (1927-)	新聞雑報	1959	油彩・カンヴァス	100.0×149.5	
68	ベルナール・ビュッフェ (1928-1999)	裸婦	1957	油彩・カンヴァス	73.0×100.0	
69	イヴ・クライン (1928-1962)	人体測定 ANT 6 6	1960	顔料、合成樹脂・カン ヴァスに貼った紙	157.0×311.0	
70	フリーデンスライヒ・フン デルトワッサー (1928-2000)	ポフツカワの木と移ろう恋 ーパースでの一週間	1975	混合技法・チップボード	68.6×96.5	
71	レオナルド・クレモニーニ (1925-2010)	普通列車	1965	油彩、アルミニウム板・ カンヴァス	73.5×144.3	
72	ホワン・ヘノベス (1930-)	逮捕された男	1968	アクリル彩・カンヴァス	120.0×90.0	
73	トム・ウェッセルマン (1931-2004)	マティスのあるモニカのヌード	1987	エナメル・レーザー カットスチール	138.0×234.0	
74	アレックス・カツ(1927-)	ドンとサンドラ	1967	油彩・カンヴァス	183.2×124.0	
75	ロベルト・マッタ (1911-2002)	ハート・プレイヤー	1945	油彩・カンヴァス	194.5×252.0	
76	アンディ・ウォーホル (1928-1987)	16のジャッキーの肖像	1964	アクリル彩、エナメル、 シルクスクリーン・カ ンヴァス	204.8×164.0	
77	ジェームズ・ローゼンクイ スト (1933-2017)	成長計画	1966	油彩・カンヴァス	178.0×356.0	
(以下、1 階ロビーで展示)						
78	佐藤忠良 (1912-2011)	帽子・あぐら	1973	ブロンズ	86.5×65.5×59.5	
79	木内克 (1892-1977)	座裸婦	1959	ブロンズ	105.0×76.0×68.0	
80	ジャコモ・マンズー (1908-1991)	枢機卿座像	1981	ブロンズ	122.0×66.5×52.5	

令和7年度

いわき市小・中学生版画展プラスー版画のカー

令和5年度から市内小・中学生の作品の他に当館が所蔵する版画作品を展示する小企画展示を行っており、本年度も継続して実施した。前年度と比較すると、小・中学生の出品作品数が若干回復したことから、企画展示室1の前方3分の1程度を小企画展示「さまざまな版画表現～スクリーンプリント～」、企画展示室1後方と企画展示室2を小・中学生の作品展示に当てた。加えて、小企画展示「夏休み子ども版画教室特別展示」を2階ロビーで行った。なお、小・中学生の出品数増加は、本年度より募集要項などを見直したためではないかと考えられる。ただし、増加したとはいえ、参加校数は市内にある対象校の3分の1に満たないことを鑑みると、今後も参加の呼び掛けを継続していく必要があるだろう。

本年度は、企画展示室1の中間で小企画と小・中学生の展示エリアを分けたことにより、各学校の展示スペースに余裕が生まれ、メリハリのある展示が可能となった。本年度は任意で提供を受けた学校のコメントを記したパネルを作品の横に添えるなど、内容の一層の充実を図った。さらに、小企画展示では、版画の技法に着目して、版画全体の理解度向上に取り組んだ。小企

画展示「さまざまな版画表現～スクリーンプリント～」では、所蔵作品を「スクリーンプリントってなあに?」、「ポップアートとは、とってもなかよし」、「シンプルだったり、にぎやかだったり、日本のスクリーンプリント」の3章構成で展示し、スクリーンプリントの特徴と魅力を紹介した。加えて会場には、スクリーンプリントの工程見本や版のタッチコーナーを設けた。また、本年度から、夏休み期間に実技講座を開催し、その成果と実施の様子を紹介する小企画展示「夏休み子ども版画教室特別展示」を実施し、版画の多様性を来場者に紹介した。

会期中は、「春を祝うコンサート&パフォーマンス」、「わくわくアートスクール」、「かんたん! 版画体験コーナー&版画の広場」など恒例の催しを開催し、盛況であった。

会 期 2026年1月6日(火)～1月25日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室1、2およびロビー
主 催 いわき市立美術館 いわき市教育委員会
協 力 いわき市小学校教育研究会図画工作部会
いわき市中学校教育研究会美術部会



■参加校及び出品点数

参 加 校	23校	小 学 校	14校	
		中 学 校	6校	
		特別支援	3校	
出品点数	1,787点	小 学 校	1,092点	内、共同作品17点
		中 学 校	512点	
		特別支援	183点	内、共同作品23点
参加者数	2,083人	小 学 校	1,351人	
		中 学 校	512人	
		特別支援	220人	

■参加校一覧

【小学校】	御厩小学校	【中学校】	【特別支援教育諸学校】
平第一小学校	宮小学校	中央台南中学校	聴覚支援学校平校
平第三小学校	小名浜東小学校	小名浜第二中学校	平支援学校
平第五小学校	泉北小学校	江名中学校	いわき支援学校
郷ヶ丘小学校	湯本第三小学校	泉中学校	
高久小学校	磐崎小学校	湯本第一中学校	
四倉小学校	いわき秀英小学校	磐崎中学校	
小玉小学校			

●小企画「さまざまな版画表現～スクリーンプリント～」 出品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・素材	サイズ(縦×横cm)
1	ヤーコブ・アガム	1928-	アガモグラフィー“フェスティバル”	1972-75	スクリーンプリント・プラスチック	39.3×37.0
2	横尾忠則	1936-	葬列Ⅱ	1985	スクリーンプリント・アクリル板	75.0×114.0
3	パトリック・コールフィールド	1936-2005	浴室の鏡	1968	スクリーンプリント・紙	71.1×93.2
4	アンディ・ウォーホル	1928-1987	花	1970	スクリーンプリント・紙(10点組)	各91.5×91.5
5	リチャード・ハミルトン	1922-2011	インテリア	1964-65	スクリーンプリント・紙	49.0×63.6
6	アンディ・ウォーホル	1928-1987	『11人のポップアーティストⅢ』より ジャクリース・ケネディⅢ	1965	スクリーンプリント・紙	101.4×76.2
7	ロイ・リクテンスタイン	1923-1997	『11人のポップアーティストⅢ』より スウィート・ドリームス、ベイビー!	1965	スクリーンプリント・紙	95.6×70.2
8	ジェームズ・ローゼンクイスト	1933-2017	『11人のポップアーティストⅢ』より 愛のために	1965	スクリーンプリント・紙	90.0×70.0
9	アラン・ダーカンジェロ	1930-1998	『11人のポップアーティストⅢ』より 風景Ⅲ	1965	スクリーンプリント・紙	101.5×75.8
10	ピーター・フィリップス	1965-2025	『11人のポップアーティストⅢ』より カスタム・プリントⅢ	1965	スクリーンプリント・紙	62.0×101.5
11	ロバート・インディアナ	1928-2018	アメリカンドリーム#5 ゴールデン ファイブ	1980	スクリーンプリント・紙	204.0×204.0
12	高松次郎	1936-1998	遠近法のベンチ	1967	スクリーンプリント・紙	76.5×58.0
13	高松次郎	1936-1998	遠近法の箱	1967	スクリーンプリント・紙	72.3×48.2
14	高松次郎	1936-1998	遠近法のマラソン	1967	スクリーンプリント・紙	60.5×74.5
15	辰野登恵子	1950-2014	MEM-K8	1975	スクリーンプリント・紙	68.2×94.0
16	辰野登恵子	1950-2014	Work K-24	1976	スクリーンプリント・紙	70.0×92.4
17	辰野登恵子	1950-2014	Work K-30	1976	スクリーンプリント・紙	76.4×87.0
18	震囂	1931-	勸善懲惡	1988-89	スクリーンプリント・紙	160.0×63.0

ニューアートシーン・イン・いわき unpis ルートs

どこにでもあるモチーフを独自の視点からとらえ、シンプルな線と鮮やかな色彩によって表現するイラストレーター・unpis（ウンピス）は、武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業後、2018年頃から本格的に活動を始め、関東を拠点にウェブや書籍の挿絵から、PARCOなどの企業の広告ビジュアルまで、数多くのクライアントワークに加え、個展・グループ展で作品の発表を続けている。当館発行のアートマップ「てくてく彫刻マップ」のイラストも手掛けている。

本展では、今まで辿ってきた道(route)／作家自身の根源(root)／ルーツ(roots)であるいわき市での展示という意味を込めた「ルートs」

と題して、unpisがこれまで手掛けてきたクライアントワークと最新のイラスト原画まで、幅広く紹介した。このほか、タイトルにかけてエントランスから館内にカッティングシートによる道を描くなど、空間全体を使った展示となった。

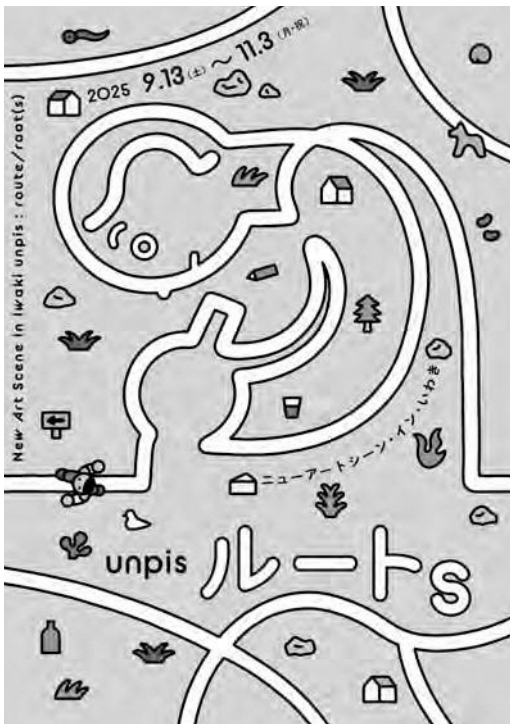
また、関連イベントとして、アーティストトークとワークショップを開催した。いわきのみならず県外からの参加者も多く、盛況であった。

印刷物においては、パンフレットのほかステッカーを製作し、開幕日から配布した。こちらも好評で、会期中に配布終了した。

会 期 2025年9月13日(土)～11月3日(月・祝)

会 場 いわき市立美術館 1階ロビー

主 催 いわき市立美術館



会場写真（撮影：白土亮二）

●ニューアートシーン・イン・いわき unpis ルート s 出品リスト

凡例

- ・ パーソナルワークの作者は全てunpis。
- ・ 分類にはunpisが担当した箇所を記載している。
- *それぞれ以下の通り省略した。

AD：アートディレクター C：コピーライター CD：クリエイティブディレクター E：エディター D：デザイナー

P：制作 PD：プロデューサー PL：プランナー

No.	分類	作品名・媒体名	制作年・刊行年・公開年	著者	材質・技法	サイズ (cm)	出版・発行・クライアント	その他詳細／備考*
■パーソナルワーク								
1		I'm home.	2025年		アクリル彩、 マーカー・ カンヴァス	33.3×33.3		
2		Choose Your Own Shape	2025年		アクリル彩、 マーカー・ カンヴァス	40.5×53.0		
3		途中	2025年		アクリル彩、 マーカー・ カンヴァス	45.5×45.5		
4		自立	2025年		アクリル彩、 マーカー・ 木製パネル	22.0×27.3		
5		My Home in My Hand	2025年		アクリル彩、 マーカー・ 木製パネル	27.3×22.0		
6		面影	2025年		アクリル彩、 マーカー・ 木製パネル	27.3×22.0		
7		Who am I ?	2025年		アクリル彩、 マーカー・ 木製パネル	45.5×33.3		
8		INSIDE	2022年		アクリル彩、 マーカー・ 木製パネル	42.0×29.7		
9		『DISCOVER』表紙用原画	2022年		アクリル彩、 マーカー・ 紙	30.0×76.0		
10		My Faces	2021年		ジークレー プリント・紙	41.8×29.7		
11		陶器作品「HUG」			陶器			
■パッケージ								
12		NISHIKIYA KITCHEN 『カレーかるた』	2021年2月				にしき食品	CD・水野学 (good design company) P・井上喜美子 (good design company) AD・佐々木海 (good design company) D・志岐 碩駿 (good design company)
13		『ソロエタイル』	2021年	ゲームデザイン・ありしん (BEYOND GAMES)			(株) 幻冬舎	
14		YOU IN	2021年6月 発売				Gunosy	
15		NONIO KEEP BOTTLE キャンペーン オリジナル ボトル	2022年				ライオン株式会社	
16		CHOCOLATE GALLERY 「Full Glasses」	2022年1月 発売				モロゾフ株式会社	デザイン会社・ paragram AD・赤井祐輔 D・清野萌奈

No.	分類	作品名・媒体名	制作年・刊行年 公開年	著者	材質・技法	サイズ (cm)	出版・発行・ クライアント	その他詳細／備考*
17		焼きたてクアトロチーズ タルト	2022年8月3 日-10月15日				BAKE CHEESE TART	
18		「unpis × てのべたかだや デザイン詰合せ Vol.2」	2023年				マル勝高田 商店	D・graf (有限会社 デコラティブモード ナンバースリー)
19		NISHIKIYA KITCHEN 母の日限定パッケージ	2025年5月				にしき食品	CD・水野学 (good design company) P・井上喜美子 (good design company) AD・佐々木海 (good design company) D・志岐 碩駿 (good design company)
20		「はくばく 骨太雑穀」	2025年				はくばく	
■絵本								
21	挿絵	「アチャチャを つかまえ ろ!ーねつの はたらきー」 『かがくのとも』(2022年7 月号)	2022年	文・森川智喜、 絵・unpis			福音館書店	
22-1	文章・挿絵	『あれ?』	2024年				小学館	
22-2		『あれ?』原画	2024年		マーカー・紙			
23-1	文章・挿絵	「スーパーじっけんマシン アワサール」『かがくの とも』(2025年4月号)	2025年				福音館書店	
23-2		「スーパーじっけんマシン アワサール」原画	2025年		マーカー・紙			
■書籍・雑誌								
24	挿絵	「パーティーにいかなく ちゃ!」『母の友』(2023 年11月号)	2023年	文・柴田聡子、 絵・unpis			福音館書店	
25	挿絵	『山がいきる』	2023年9月 8日発行				株式会社良品 計画／ 株式会社内田 洋行	
26	挿絵	『美術手帖』(4月号)	2020年3月				美術出版社	
27	装画	『FASHION ILLUSTRATION FILE 2020』	2020年				玄光社	AD+D: 尾崎行欧 (尾崎行欧デザイ ン事務所) D: 安井彩+宗藤 朱音(尾崎行欧デ ザイン事務所)
28	装画・挿絵	『Casa BRUTUS』(2024 年3月号)	2024年				マガジンハウス	
29-1	装画・挿絵	『BRUTUS』1015号	2024年				マガジンハウス	
29-2		『BRUTUS』1015号 原画	2024年		マーカー・紙			
30	装画	『虎のたましい人魚の涙』	2022年	著・くどう れいん			講談社	
31	装画・挿絵	『ラジオじゃないと届か ない』	2023年	著・宮寄守史			ポプラ社	
32	装画・挿絵	『恋できみが死なない理 由』	2023年	著・最果タヒ			河出書房新社	
33	装画	『撮るあなたを撮るわた しを 自撮りとスクショ の写真論』	2024年	著・大山顕			講談社	
34	装画	『しんどくなったら、心よ り先に体を整えよう』	2024年	著・いちい 葉子			アスコム	

No.	分類	作品名・媒体名	制作年・刊行年・公開年	著者	材質・技法	サイズ (cm)	出版・発行・クライアント	その他詳細／備考*
35	装画・挿絵	『よくわかる思考実験』	2020年	著・高坂庵行			イースト・プレス	D・RiAD DESIGN
36	装画・挿絵	『頭を「からっぽ」にするレッスン 10分間瞑想でマインドフルに生きる』	2020年	著・アンディ・ブディコム			&books / 辰巳出版	D・albireo

■画集

37		『DISCOVER』	2021年				グラフィック社	AD+D・熊谷彰博
38		『IDEATITY』	2022年				bou bow	
39		『FOLKS』	2020年	大津萌乃、unpis				
40		『NO(T)MEAN』	2019年					

■ウェブサイト

41-1	挿絵	Tarzan web 「どうすれば贅肉を削ぎ落として6パックを手に入れますか？」	2019年 12月5日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-2	挿絵	Tarzan web 「痩せるには、どんな種目をどう組み合わせればいいですか？」	2019年 12月12日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-3	挿絵	Tarzan web 「懸垂はどうやったら回数をこなせるようになりますか？」	2019年 12月19日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-4	挿絵	Tarzan web 「トレーニング中のプロテインがカラダに悪いってほんとですか？」	2019年 12月26日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-5	挿絵	Tarzan web 「男らしい肩をつくるダンベルの使い方、教えてください」	2020年 3月11日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-6	挿絵	Tarzan web 「老後に寝たきりにならないためのトレーニング、ありますか？」	2020年 3月19日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-7	挿絵	Tarzan web 「平日10分くらいでできるトレーニングを教えてください」	2020年 3月25日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-8	挿絵	Tarzan web 「ウデタテで肘がボキボキ鳴るのってヤバイですか？」	2020年 4月1日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-9	挿絵	Tarzan web 「鶏肉ばかりに飽き飽き。タンパク源に牛肉や豚肉を食べちゃダメですか？」	2020年 5月8日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-10	挿絵	Tarzan web 「とりあえずこれだけは買っておけ！ という自宅トレ用のおすすめギアはありますか？」	2020年 5月18日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-11	挿絵	Tarzan web 「スクワットすると膝が痛くなってしまう。やり方がいけないのでしょうか？」	2020年 5月31日公開		パネル出力		マガジンハウス	

No.	分類	作品名・媒体名	制作年・刊行年 公開年	著者	材質・技法	サイズ (cm)	出版・発行・ クライアント	その他詳細／備考*
41-12	挿絵	Tarzan web 「忙しいので筋トレ回数を減らしても、筋肉を維持する生活習慣のコツを教えてください。」	2020年 6月18日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-13	挿絵	Tarzan web 「ダイエット期とバルクアップ期の食事とトレーニングの違いは？」	2020年 6月25日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-14	挿絵	Tarzan web 「バスト痩せせずにカラダを絞るイイ方法、ありますか？」	2020年 7月2日公開		パネル出力		マガジンハウス	
41-15	挿絵	Tarzan web 「「筋肉をつけるなら水泳はするな!」と聞きました。筋肥大に相性のいい種目はなんですか？」	2020年 7月16日公開		パネル出力		マガジンハウス	

■動画・アニメーション

42		「ルーツ」 ビジュアル制作動画	2025年					
43		ニュースレターサービス『Quartz Japan』 ビジュアルアニメーション	2020年					
44		二人展「DANCE」 アニメーション	2020年	背景：大津萌乃				
45		SUZURI byGMO ペパボシルクスクリーンLP用アニメーション	2020年				https://suzuri.jp/lp/squeegee	
46		「2025 理想的文具 IDEAL STATIONERY FAIR by eslite」映画マナー アニメーション	2025年					

■プロダクト

47		POSTER LIGHT 「You are Light」	2024年				株式会社サカエマーク	
48		POSTER LIGHT 「Light of Life」	2024年				株式会社サカエマーク	
49		「CHAPTER13」スケートボードスツール Get everything you want while living this life	2024年				LURF GALLERY	D・LURF GALLERY 栗原一浩
50		SHINAUN 専用ゴミ袋 3種	2025年				品川運輸株式会社	
51		「部屋が片付かないラグ」	2025年				https://www.shakaika.jp/blog/34483/tufting_studio_keke/	
52		unpis×sato クッションカバー「a glass」	2022年7月				株式会社サトー	
53		unpis×sato クッションカバー「many glasses」	2022年7月				株式会社サトー	
54		HUG candle	2024年11月				tukifune	
55		HUG objet	2024年		樹脂		tukifune	
56		ミラー「I'm OK」	2024年					

No.	分類	作品名・媒体名	制作年・刊行年・ 公開年	著者	材質・技法	サイズ (cm)	出版・発行・ クライアント	その他詳細／備考*
57		瀬戸焼オブジェ 「CAT」 「DOG A」「DOG B」 各 2種	2025年		陶器		中外陶園	
■アートワーク								
58	店内ビジュ アル、ショッ パー	HAPPENING (神奈川県・ 三崎)	2021年12月- 2024年1月 20日					
59		アートリンク in 横浜赤レ ンガ倉庫	2021年12月 4日- 2022年2月 20日	unpis、 大津萌乃	パネル出力			主催：横浜赤レン ガ倉庫 (公益財団法人横 浜市芸術文化振興 財団・株式会社横 浜赤レンガ) 美術：大津萌乃 unpis テクニカルディレク ション：株式会社ミ ラクルプロダクツ 運営協力：株式会 社パティネリジャー 企画制作：公益財 団法人横浜市芸術 文化振興財団
60	キャラクター	男性ブランコのフェイバ リットコントライブ 「ちょいとそこのキマイラ さん」	2022年7月					
61	メインビジュ アル、グッズ	男性ブランコ単独コント 「やってみたいことがある のだけれど」	2023年5月					グッズ：コントラ イブ映像付キーホル ダー／上演パンフ レット(本編抜粋 台本付き)／ピン バッジ【002 やって みたいおぼけver】 ／履いてみたい靴 下【白黒、カラー】
62	メインビジュ アル、グッズ	POP UP STORE『男性 ブランコの研究報告』	梅田ロフト 2024/12/28- 2025/1/19、 銀座ロフト 2025/1/25- 2/16					グッズ：ボールペン ／キャラクターステッ カー／ロンT (mono) ／付箋セット
63		矢野顕子×上原ひろみ 『Step Into Paradise -LIVE IN TOKYO-』	2024年				Concord Music Group, Inc.	
64	店内ビジュ アル、ビール 缶、グッズ	1st anniversary special weeks 「1st anniversary special beer」／グッズ	2024年				THIS BREWING	
65	総合ビジュ アル、グッズ	「2025 理想的文具 IDEAL STATIONERY FAIR by eslite」	2025年				誠品生活 eslite bookstore	

No.	分類	作品名・媒体名	制作年・刊行年 公開年	著者	材質・技法	サイズ (cm)	出版・発行・ クライアント	その他詳細／備考*
■広告・ポスター								
66		ミュージカル 「TERRACE MURDER HOUSE」フライヤー	2020年				ミュージカル 製作ユニッ トGroup B 平戸麻衣	2020年新宿・雑遊 にて上演 上映台本・オノマ リコ 脚色／演出・平戸 麻衣 喜劇「毒薬と老 嬢」をアレンジし たミュージカル
67		PARCO 2020 クリスマ スキャンペーンポスター (『FUDGE』(vol. 210) 付録)	2020年12月				三栄書房	C・PARCO AD・田部井美奈 PL +E +P・RCKT/ Rocket Company*
68-1		2022年度愛知人権啓発 ポスター	2022年				愛知県	
68-2		2022年度愛知人権啓発 ポスター 性的少数者の 人権	2022年				愛知県	
68-3		2022年度愛知人権啓発 ポスター 外国人の人権	2022年				愛知県	
68-4		2022年度愛知人権啓発 ポスター 女性の人権	2022年				愛知県	
69		スプリングキャンペーン	2024年		パネル出力		株式会社アトレ	AG・株式会社ジェ イアール東日本 P・株式会社たき コーポレーション AD・吉田真央 C／P R・林美緒 D・高尾百音、小 林真優、田島史菜 PD・小倉茉紘
■いわきのお仕事								
70-1	装画	Alios paper vol.79	2021年 6月2日発行				いわきアリオス	
70-2	装画	Alios paper vol.80	2021年 8月4日発行				いわきアリオス	
70-3	装画	Alios paper vol.81	2021年 10月6日発行				いわきアリオス	
70-4	装画	Alios paper vol.82	2021年 12月1日発行				いわきアリオス	
70-5	装画	Alios paper vol.83	2022年 2月4日発行				いわきアリオス	
70-6	装画	Alios paper vol.84	2022年 3月23日発行				いわきアリオス	
71		アートマップ 「てくてく彫刻マップ」	2024年 3月31日発行		パネル出力		いわき市立 美術館	

第55回いわき市民美術展覧会

会期	書の部 2026年2月6日(金)～2月15日(日) 絵画・彫塑の部 2026年2月20日(金)～3月1日(日) 陶芸の部 2026年3月6日(金)～3月15日(日) 写真の部 2026年3月6日(金)～3月15日(日)
会場	いわき市立美術館企画展示室1、2およびロビー
主催	いわき市民美術展覧会運営委員会 いわき市教育委員会 いわき市文化協会 いわき市立美術館
後援	福島民報社 福島民友新聞社 いわき民報社 NHK福島放送局 ラジオ福島 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島 FMIいわき
協力	いわき美術協会 いわき陶芸協会 いわき書道協会 いわきアート集団
審査員	書の部 井戸川保子、馬上溪花、金成大雅 (書家／市内在住) 絵画・彫塑の部 北澤茂夫(画家、二紀会委員、横浜美術 大学名誉教授／茨城県在住) 陶芸の部 小泉晋弥(茨城県天心記念五浦美術館長 ／茨城県在住) 写真の部 大貫 亘(写真家、一般社団法人二科会 写真部名誉会員／茨城県在住)

- 書の部
一般応募129点(内、青少年57点)
展示点数149点(招待19点、遺作1点、一般129点)
- 絵画・彫塑の部
一般応募222点(内、青少年52点)
展示点数229点(招待7点、遺作0点、一般222点)
- 陶芸の部
一般応募65点(内、青少年0点)
展示点数74点(招待9点、遺作0点、一般65点)
- 写真の部
一般応募91点(内、青少年1点)
展示点数94点(招待3点、一般91点)

55回目を迎えた市美展では、運営面で2つの変更が行われた。運営に関わる経費負担の増加により安定的な運営が難しくなっていることから、一般向けの出品料を従来の2,000円から2,500円に改訂した(青少年の出品料は従来通り500円)。これにより、運営の安定化を図った。また、募集要項の申込書の記入欄を大幅に見直し、記入事項を減らして出品者の負担軽減を目指した。このような変更をしたが、大きな混乱はなく搬入時はスムーズに運営することができた。

今回は、一般出品点数は4部門合計で507点となり、昨年より22点増加した。書の部では14点、絵画・彫塑の部では19点の増加が見られ、明るい話題となった。両部門では一般・青少年とも出品点数が増加しており、学校の部活や授業で制作した作品を学校単位で出品してもらえるよう働きかけた成果が表れている。また、書の部では過去におこなった規格の見直しによる出品しやすい環境づくりも功を奏した。しかしながら、4部門全体では人口減少や出品者の高齢化、青少年を除いた新規出品者の伸び悩みなど、市美展運営における課題が顕在化している。今後も、創作意欲を喚起し、出品を促す仕組み作りが重要な課題となる。

来場者数は4部門合計で4,680人となり、昨年度より83人増加した。書の部と絵画・彫塑の部では来場者の増加が見られ、陶芸と写真の部では減少した。書の部および絵画・彫塑の部の増加要因として、青少年の作品を観覧する家族の来場が多かったことに加え、「高校生による書道パフォーマンス」を2日間で4回実施したことや、書の部の揮毫会開催が挙げられる。



書の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）
いわき市長賞	春明艸	西 恵美子	四倉町
いわき市議会議長賞	杜甫詩	山川 榮雪	平
いわき市教育委員会教育長賞	園居	古和口 瑛香	中岡町
《佳作》			
福島県報徳社賞	三字句	齊藤 福庵	郷ケ丘
遠藤一心堂賞	謝霊運詩	小野 恵風	滋賀県近江八幡市土田町
キョー和賞	臨王鐸	田村 萬里	中央台
株式会社風雅プランニング賞	幸運の順	渡辺 梨花	石塚町
〃	杜荀鶴詩	鈴木 小琴	植田町
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	沈佺期詩	櫛田 啓	中央台
ひまわり信用金庫賞	芭蕉の句	古市 澄子	泉ケ丘
ときわ会賞	杜甫詩	笹田 北陸	勿来町
有限会社朝日建工賞	張廷玉詩	渋井 静華	錦町
いわき書道協会賞	春の風	實川 一子	常磐上湯長谷町
《特別賞》			
青少年賞（いわき書道協会賞）	安積良斎詩	渡部 愛加	平北白土
青少年賞（遠藤一心堂賞）	寒山詩	遠藤 知胡	郷ケ丘
青少年賞（富士川新社賞）	臨寸松庵色紙	新田 和奏	平
青少年賞（有限会社朝日建工賞）	臨風信帖	奥藤 凜	小名浜

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞および佳作等は審査員が選考します。
※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とします。

絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）	部門
いわき市長賞	Green water	鈴木 忠寿	鹿島町走熊	絵画
いわき市議会議長賞	Stellar	田仲 直立	中央台	彫塑
いわき市教育委員会教育長賞	波動	薄 美可	平下荒川	絵画
《佳作》				
いわき商工会議所会頭賞	天空の祈り	江尻 敏昭	郷ケ丘	絵画
いわき市文化協会会長賞	昔日のメロディー	江尻 敏昭	郷ケ丘	彫塑
〃	生き方と在り方	松江 州泰	常磐関船町	絵画
福島県報徳社賞	滅びゆく楽園	山口 典子	内郷綴町	絵画
〃	群衆の中の孤独と事実の意味	四家 友幸	中央台	絵画
〃	あけぼの杉	小野 重治	小名浜	絵画
〃	馬	山本 伸樹	田人町旅人	彫塑
有限会社トーカイ賞	円景	齋藤 博英	常磐上湯長谷町	絵画
〃	生きてゆく	横山 千晶	中央台	絵画
株式会社箱崎美術広告社賞	モンスター200羅漢	古川 幹	福島市松川町関谷	絵画
椿屋賞	鶴を折る（合唱曲「千羽鶴」を想う）	福富 知子	鹿島町久保	絵画
昭文堂賞	景-R8-I	佐々木 寿子	錦町	絵画
〃	狩りノ極致	高田 柚奈	平鎌田	絵画
坂本紙店賞	FLOWER 2026, 2, A	渡辺 啓	四倉町	絵画
〃	宇宙（そら）へ	吉田 弘伸	平	絵画
ギャラリー磐城賞	七福神	小賀坂 義弘	小名浜玉川町	彫塑
東日本国際大学賞	道標（みちしるべ）	藤於 環	常磐上湯長谷町	絵画
アートスペース泉賞	ふわ	中田 琴	郷ケ丘	絵画
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	供養に舞う	大内 馥子	金山町	絵画
ひまわり信用金庫賞	木彫・鯉を抱く少年？	志賀 幸之丞	中央台	彫塑

賞 名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）	部門
《特別賞》				
青少年（アートスペース エリコーナ）賞	井の中の蛙大海を知らず、されど…	鹿嶋 心絵	内郷高野町	絵画
青少年（ガレリア プル）賞	奇生	小野 莉桜	小名浜	彫塑
青少年（アートサロンいわき）賞	Pursuance	田仲 凜太郎	中央台	絵画
青少年奨励（X）賞	狩りノ極致	高田 柚奈	平鎌田	絵画

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞および佳作等は審査員が選考します。

※青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となります。

※青少年奨励（X）賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与されます。

陶芸の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）
いわき市長賞	彩磁 旅情	橋本 栄子	内郷御厩町
いわき市議会議長賞	緑釉刻文花入	佐々木 康行	平中平窪
いわき市教育委員会教育長賞	あかり 異郷の旅	佐藤 康子	明治団地
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	蕪絵の皿	土田 明子	江名
福島県報徳社賞	お手皿100の修業	正木 緑子	平中山
いわき陶芸協会賞	象嵌大皿一對	山崎 淳司	田人町南大平
ギャラリー磐城賞	蟹付土塊瓶花入	遠藤 靖典	平豊間
アートスペース泉賞	焼メ花器	根本 寿恵子	内郷高坂町
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	太古の記憶	矢部 達也	江名
ひまわり信用金庫賞	旅立ち	清宮 千秋	金山町
ギャラリー木もれび賞	無釉焼縮長頸壺	吉田 多喜子	岡山県瀬戸内市牛窓町鹿忍

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞及び佳作等は審査員が選考します。

写真の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住所（大字まで公開）
いわき市長賞	命尽きて	横山 孝	石森
いわき市議会議長賞	越境	翠明	小名浜大原
いわき市教育委員会教育長賞	光流模様	比佐 勇	常磐上湯長谷町
《佳作》			
福島県報徳社賞	秋雪	黒澤 泰弘	平下平窪
社団法人 いわき観光まちづくりビューロー賞	うちのカミさん	山田 肇	中之作
〃	モデル「M」	松本 富美雄	勿来町
福島県写真館協会浜通り支部賞	幻想の宵	四家 和也	内郷高坂町
昭文堂賞	窓辺のセリちゃん	平沢 ミチ子	錦町
YK写真工房賞	冬の光彩	吉田 浩子	平下神谷
カメラの矢吹賞	時空	今泉 弘	小川町上平
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	復興の歩	篠崎 良司	若葉台
ひまわり信用金庫賞	深秋	石森 文夫	小名浜林城
ハニーズ賞（株式会社ハニーズホールディングス）	美の海	鈴木 健司	小島町
〃	霧舞う不眠の街	大澤 勝男	金山町

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞及び佳作等は審査員が選考します。

普及事業 移動美術館

市内の公民館や学校などとの相互交流や連携により美術館活動の幅を広げ、美術や美術館への興味を喚起することを目的とした事業。市内の作家や各種専門家、また学芸員が講師となり、実技・工作、美術講座、作品鑑賞教室など多角的に展開。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
12月5日(金)	当館学芸員	総合教育センター チャレンジホーム「メタル風アートをつくろう」 ボール紙を好きな形に切り、紙や糸を貼って凹凸をつくり、アルミホイルを貼ってプレスし仕上げる「メタル風アート」。手軽に楽しめる工程で、重厚感あふれる金属風のレリーフやメダルを完成させた。いわき市総合教育センターとの共催。	総合教育センター

普及事業 講演会

企画展などの鑑賞の一助として、専門の講師を招聘する講座。出品作家、研究者、識者、活動家など、多岐にわたる講師陣を迎えて開催。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
6月28日(土)	山口洋三 (本展監修者) 五十嵐浩司 (本展ゲストキュレーター)	記念対談「80年代ロボットアニメの隆盛とガンダムの展開」 企画展「日本の巨大ロボット群像」関連の催し。ロボットアニメというカテゴリーが生まれる前後の状況から、ロボットアニメの大きな分岐点となったガンダムについて、近・現代日本美術を専門とする講師に知見をお話いただいた。同時代の美術状況のみならず、西洋絵画における裸婦像の歴史を参照しつつ、藤田がいかに自身の様式を築き上げ、裸婦像として表現したか、ご説明いただいた。	文化センター 1階 大講義室
10月11日(土)	高橋佳苗 (神戸市立博物館学芸員)	講演会「ユニマットコレクションにみる藤田嗣治の女性像―暮らしの中のやすらぎ―」 企画展「やすらぎの近代絵画―ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで―」関連の催し。出品作であるユニマットグループ所蔵の藤田嗣治の裸婦像について、近・現代日本美術を専門とする講師に知見をお話いただいた。同時代の美術状況のみならず、西洋絵画における裸婦像の歴史を参照しつつ、藤田がいかに自身の様式を築き上げ、裸婦像として表現したか、ご説明いただいた。	3階 セミナー室

普及事業 美術講座

展覧会鑑賞の一助として、また、様々な美術の情報の提供を目的として当館学芸員が講師となり開催。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
6月1日(日)	当館学芸員	「特集：谷川俊太郎といわき」 企画展関連事業として、常設展示室内で開催した特集についての講座。谷川俊太郎といわきとの関わりについて展示では伝えきれなかった話や、谷川俊太郎が生前交友関係をもっていた詩人・草野心平について紹介した。	セミナー室
8月7日(木)	当館学芸員	ティーチャーズミュージアム 市内の教職員を対象に参加者を募集し、企画展・常設展鑑賞、実技体験、展覧会紹介、意見交換を行った。常設展の対話型鑑賞で新たな視点が得られ、実技体験は授業のヒントになったと好評価を得た。	セミナー室 ほか



記念対談「80年代ロボットアニメの隆盛とガンダムの展開」



講演会「ユニマットコレクションにみる藤田嗣治の女性像―暮らしの中のやすらぎ―」



ギャラリートーク「谷川俊太郎 絵本★百賞展」

開催日	講師	講座名(内容)	会場
10月18日(土)	当館学芸員	「展覧会の見どころ」(やすらぎの近代絵画—ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで—) 企画展「やすらぎの近代絵画—ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで—」の内容をスライド資料を用いて講義。西洋絵画における風景画というジャンルの成立と、バルビゾン派の誕生とその意義について重点的に解説した。	セミナー室
2月28日(土)	当館学芸員	常設展 美術講座 常設展後期Ⅱについて4人の作家を取り上げ解説した。	3階 セミナー室

普及事業 ギャラリートーク

作品鑑賞の一助として、常設展では毎月1回程度開催。企画展では、土曜日、日曜日を中心に開催。また、団体などの要望に応じて随時開催した。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
4月19日(土)	林綾野 (本展キュレーター)	「谷川俊太郎 絵本★百貨展」ギャラリートーク 展覧会の見どころや制作における谷川俊太郎の思いなどを、30名あまりの観覧者と共にめぐりながら解説いただいた。	企画展示室
9月13日(土)	unpis 聞き手：当館学芸員	「ニューアートシーン・イン・いわき unpis ルートs」アーティストトーク ニューアートシーン・イン・いわきの出品作家によるトーク。展示造作物や出品作品について、そして制作方法からデザイナーとの協働など、イラストレーターの仕事について幅広くお話いただいた。40名以上の参加者があり、注目度の高さがうかがえた。	1階ロビー
11月22日(土)	当館学芸員	「コレクションの輝き」ギャラリートーク 展覧会の概説および主要な作品について解説した。	企画展示室
通年、毎月1回 程度(9回)	当館学芸員	常設展ギャラリートーク	常設展示室
通年、随時 (23回)	当館学芸員	団体解説 企画展、常設展の団体鑑賞につき、要望に応じて随時開催	常設展示室、 企画展示室

普及事業 ワークショップ

現代美術作家などを中心に、参加者が表現における思考のプロセスや作品の創作を共同作業でおこない、表現することの楽しさを体験しつつ美術に対する理解を深めていくプログラム。企画展に併せて、また収蔵作家ワークショップなど独自の企画により多角的に開催。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
4月27日(日)	当館学芸員	美術館の今ここ図工室「紙コップインスタレーション」 「今ここ」で夢中で創作を楽しみ、美術を身近に感じ新たな視点を日常や文化活動へ生かす活動。今回は、たくさんの白い紙コップをならべたり、積み重ねたりして部屋全体を作品にするインスタレーション体験。1階ロビー全体に、人の高さくらいの立体物がいくつも作られた。	1階ロビー



ギャラリートーク「コレクションの輝き」



美術館の今ここ図工室「紙コップインスタレーション」



美術館の今ここ図工室「ガムテープアート」

開催日	講師	講座名(内容)	会場
5月25日(日)	当館学芸員	美術館の今ここ図工室「ガムテープアート」 「今ここ」で夢中で創作を楽しみ、美術を身近に感じ新たな視点を日常や文化活動へ生かす活動。今回は、新聞紙と様々な色のカラーガムテープを使って、立体で作りたいのを作る活動。参加者は、思い思いのものを満足するまで作っていた。	1階ロビー
7月5日(土)	当館学芸員	美術館の今ここ図工室「小さくてゴメンね!ミニロボットを作ろう」 「今ここ」で夢中で創作を楽しみ、美術を身近に感じ新たな視点を日常や文化活動へ生かす活動。巨大ロボット展が開催中だったため、こちらはミニロボット制作で対抗。木片に釘を打ちつけてロボットを作った。子どもから大人まで楽しんでた。	実技講習室
8月2日(土)、 8月3日(日)	当館学芸員	夏休みの自由研究のすすめ2025 美術館で鑑賞や見学を通じてテーマを探り、研究・発表し美術への興味を深める取り組み。バックヤードツアー、常設展、企画展の鑑賞。その後、テーマを自分で考えて、研究や制作を行う。参加者は美術館で見たものをテーマに、2日間かけて立体物を作り、最終日に発表していた。	実技講習室 ほか
10月19日(日)	unpis	「自分の好きなもの」を描いてみる 参加者それぞれが持ち寄った「自分の好きなもの」を描き、unpisの作画工程を体験するワークショップ。作品完成後には、参加者による簡単な発表と、unpisから一人一人の作品についての感想をもらった。単純な工程ながらも、線を減らし、色を選ぶことの楽しさを感じると共に、イラストの面白さを体感するものとなった。	実技講習室
12月6日(土)、 12月7日(日)	居上紗笈 (舞踊家)、 居上紗芽 (舞踊家)、 藍木二郎 (舞踊家)	ダンス気功「繭(いと)の夢」 企画展「コレクションの輝き」関連の催し。日本の伝統と気功、現代ダンスを融合した「ダンス気功」のワークショップ。 まず気功についての簡単なレクチャー後、実際に呼吸法と簡単な気功法の基礎を体験。次に、参加者が「男踊り」「女踊り」から1つを選び、それぞれの講師のもとで、振付や動作を教わり、音楽に合わせた。最後に、2つのグループが合流し、講師とともに円になって踊った。	1階ロビー
1月6日(火)～ 1月25日(日)	当館スタッフ	かんたん! 版画体験コーナー&版画の広場 版画展恒例の催し。昨年に引き続きカーボン紙紙版画でのカードづくりを大人から子どもまで多くの人が体験した。仕上げた作品を展示する「版画の広場」(ダウン・ギャラリー)は、日に日に作品が増え展覧会に賑わいを添えていた。	2階ロビー
1月17日(土)、 1月18日(日)	常田泰由 (アーティスト)	わくわくアートスクール「1枚だけの版画 水彩モノタイプ」 「いわき市小・中学生版画展」関連の催し。プラスチックの板に水彩絵の具で絵を描き、それを湿した紙に刷り取ることで作るモノタイプ版画のワークショップ。今回は、付き添いの保護者にも参加者になってもらう方針で実施。透明水彩が版を重ねることで色に深みが増して行く様子が楽しいと老若男女問わず好評だった。	実技講習室



ワークショップ ダンス気功「繭の夢」



かんたん! 版画体験コーナー&版画の広場



わくわくアートスクール「1枚だけの版画 水彩モノタイプ」

普及事業 実技講座

さまざまな分野の作家を招き、普段なかなか体験する機会がない技法や表現方法を学びながら自身の表現へと繋げ、制作の可能性を広げることを目的に実施。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
8月9日(土)、 8月10日(日)	丹文聡 (模型メディア 「nipper」副編集 長)	ロボットプラモデルを組み立てて、撮影してみよう! 企画展「日本の巨大ロボット群像」関連の催し。ロボットプラモデルを組み立て、撮影法を学ぶ講座。講師の自己紹介を交えた簡単なレクチャー後、ニッパーの使い方やきれいに仕上げる方法などの具体的なアドバイスを受けながら、プラモデルを組み立てていった。完成後、講師の例を見ながら撮影のコツを学び、参加者が実際に撮影した中から選んだ1枚をプロジェクターで紹介した。	セミナー室
8月10日(日)、 8月11日(月・祝)	丹文聡 (模型メディア 「nipper」副編集 長)	ロボットプラモデル筆塗り講座 君だけの色に塗ってみよう! 企画展「日本の巨大ロボット群像」関連の催し。プラモデルを筆で塗る方法を学ぶ講座。講師の自己紹介、塗料の性質・使い方・注意事項などのレクチャーを受けた後、講師の実技や見本も見ながら、各自が持参したプラモデルを筆で塗った。	実技講習室
8月16日(土)、 8月17日(日)	宮嶋結香 (画家・版画家)	夏休みこども版画教室「これも版画? 集めて貼ってコラグラフ」 「いわき市小・中学生版画展」関連の催し。厚紙や木の葉、ヒモ等を台紙に貼り付けてインクをのせて刷るという工程を、工作に近い感覚で楽しんでもらうことができた。また、作品を後日版画展で展示した点も好評だった。	実技講習室
8月19日(火)	安齋歩見(版画家)	学校現場で応用できる、さまざまな版画表現 「いわき市小・中学生版画展」関連の催し。市内小中学校、支援学校等の教職員を対象に、あまり知られていない面白い版画技法を提案し、版画展出品の機運醸成のために実施。紙版スクリーンプリントと木版モノタイプの2種類を実施。短い時間の中ではあったが、版画の技法材料についての質問が出る等、活発な講座となった。	実技講習室

普及事業 公開制作

作家の制作過程を広く公開することにより、素材や技法、作家独自の作品論などを身近に見聞できる機会を提供する目的で開催。

(本年度は公開制作は未開催。)

普及事業 映像鑑賞会

企画展に関連した映像作品や、美術的に優れたアニメーション作品を上映している。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
5月3日(土・祝)、 5月4日(日・祝)		ドキュメンタリー鑑賞会 「詩人 谷川俊太郎」、「谷川さん、詩をひとつ作ってください。」の2本を2日間計4回上映した。「谷川俊太郎 絵本★百貨展」では、谷川の絵本を中心に紹介していたため、上映会では詩人としての側面を含めた、谷川俊太郎の活動全般を知ることができるよう、関連事業として開催した。参加者からは、ドキュメンタリーを見た後に展覧会を鑑賞することで、より深く谷川を知ることができたとの声をもらった。	セミナー室



実技講座「ロボットプラモデルを組み立てて、撮影してみよう!」



実技講座「ロボットプラモデル筆塗り講座 君だけの色に塗ってみよう!」



夏休みこども版画教室「これも版画? 集めて貼ってコラグラフ」

開催日	講師	講座名(内容)	会場
10月4日(土)		映画鑑賞会「ブラド美術館 驚異のコレクション」(字幕版) 企画展「やすらぎの近代絵画―ユニマットコレクション ミレーからワイエスマで―」関連の催し。監督：ヴァレリア・パリージ、2020年制作。開館200周年を迎えたスペインが誇る美の殿堂、ブラド美術館が誇る傑作群を詳細にカメラに記録したアート・ドキュメンタリー。	セミナー室
3月20日(金・祝)		春分の日映画会「ブレンダンとケルズの秘密」(吹替版) 監督：トム・ムーア、ノラ・トゥーミー、2009年制作。9世紀にアイルランドの修道士によって作られ、“世界で最も美しい本”とも呼ばれる聖なる本“ケルズの書”をモチーフに、世界を救うために本の完成を目指す少年修道士ブレンダンが繰り広げる大冒険の行方を、繊細で美しい映像で描き出すファンタジー・アニメーション。	企画展示室1

普及事業

コンサート&パフォーマンス

時代とともに多様化する芸術表現を企画展、常設展と関連づけながら多角的に紹介する事業。美術館という環境ならではの特性を生かしながら、美術と異ジャンルとの積極的なかわりが生み出す相乗効果を体感できる機会提供を心がけている。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
9月15日(月・祝)	梅原尚子 (ピアニスト)、 渡辺秋香 (ピアニスト)	コンサート「フランス近代の調べ〜ピアノの連弾・独奏とトーク〜」 企画展「やすらぎの近代絵画―ユニマットコレクション ミレーからワイエスマで―」関連の催し。ピアニストの梅原尚子氏、渡辺秋香氏を迎え、サティ、ドビュッシー、プーランク、ラヴェルら、出品作家と同時代のフランス近代音楽を、ピアノの連弾と独奏で演奏いただいた。また曲にまつわるトークとフランス語による詩の朗読も交えて、音楽の背景も理解できる内容となった。	2階ロビー
12月7日(日)	蒼浩人(舞踏家)、 居上紗笈 (舞踏家)、 藍木二郎 (舞踏家)、 居上紗芽 (舞踊家)	ダンスライブ「平和への祈り 鎮魂のダンスの饗宴」 企画展「コレクションの輝き」関連の催し。居上紗芽、紗笈、藍木による「ダンス気功」の後、1階ロビーの空間を広く使って、3人の出演者がソロの即興ダンスを披露。プログラムは次のとおり。 ①ダンス気功「繭(いと)の夢」、②「528ヘルツ」(藍木)、 ③「月光」(居上紗笈)、④「波の花」(蒼) 公演終了後には、出演者によるアフタートークを行った。	1階ロビー
1月12日(月・祝)	カーティス・ パターソン (箏曲奏者)、 ブルース・ ヒューバナー (尺八奏者)、 木田敦子 (箏曲奏者)	春を祝うコンサート&パフォーマンス「箏×尺八×三絃の調べ 春の彩り」 「いわき市小・中学生版画展」関連の企画として、午前と午後の計2回実施。「春の海」といった邦楽の古典的な曲から、ジャズ、オリジナル曲まで幅広い曲目を演奏。多彩な曲目に加えて、合間に和楽器の説明や演奏者の経歴等の軽妙なトークも交える飽きさせない構成で、来館者の満足度も高かった。	1階ロビー



ドキュメンタリー鑑賞会「谷川俊太郎 絵本★百貨展」



コンサート「フランス近代の調べ〜ピアノの連弾・独奏とトーク〜」



ダンスライブ「平和への祈り 鎮魂のダンスの饗宴」

●THE GALLERY いわき市立美術館ニュース

当館のニュースとして「THE GALLERY」を2回発行した。

No.80 (2025年9月16日発行)

マツコート四六判 6ページ

- ・企画展紹介 やすらぎの近代絵画―ユニマツコレクション ミレーからワイエスまで(学芸員 徳永祐樹)
- ・企画展紹介 ニューアートシーン・イン・いわき unpis ルートs (学芸員 鈴木彩乃)
- ・企画展紹介 コレクションの輝き(主任専門学芸員 杉浦友治)
- ・新収蔵作品紹介 殿敷侃作《楠木のお好焼風料理法》ドローイングについて(寄稿 茨城県天心記念五浦美術館 館長・小泉晋弥)
- ・常設展示室から(学芸課長 江尻英貴)
- ・学芸員ノート 鈴木新夫について(館長 竹内啓子)
- ・今後の主な展覧会のご案内

No.81 (2026年3月31日発行)

マツコート四六判 6ページ

- ・企画展紹介 堀内誠一展 FASHION・FANTASY・FUTURE (主任専門学芸員 杉浦友治)
- ・企画展紹介 20世紀北欧デザインの大匠 スティグ・リンドベリ展(学芸員 徳永祐樹)
- ・特集―「ニューアートシーン・イン・いわき」のはじめ方～渡邊洵の場合～(学芸員 猪狩智子)
- ・常設展示室から(学芸課長 江尻英貴)
- ・学芸員ノート 「イチオシ企画」を終えて(主任専門学芸員 杉浦友治)
- ・今後の主な展覧会のご案内



●いわき市立美術館年報

令和6年度年報 B5判 67ページ

●展覧会図録等

ニューアートシーン・イン・いわき unpis ルートs パンフレットA4三つ折り

普及事業
実技講習室
の公開

実技講座参加者やそれに準ずる個人に実技講習室や備品を開放。リトグラフ制作などで利用があった。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
4月～		実技講習室の公開 実技講座参加者やそれに準ずる個人による制作のために実技講習室を開放。担当者が備品の保管場所や注意事項等を説明し、各々で制作に取り組んだ。	実技講習室



春を祝うコンサート&パフォーマンス「箏×尺八×三絃の調べ 春の彩り」



いわき市立美術館×いわきアリオス×いわき市立草野心平記念文学館連携 「福島詩人・和合亮一による詩作WS」(撮影:吉田和誠)



いわき市立美術館×いわきアリオス連携事業コンサート「DiVaの音楽会～まるで絵本の世界を旅するようなDiVaの歌へようこそ～」(撮影:鈴木龍藏)

普及事業 図書室の公開

開館時間（午前9時30分から午後5時まで。7・8月の金曜日は午後8時まで）にあわせ、室内での閲覧に限り図書室を公開。展覧会図録など公開していない資料についても利用者の申し出があれば閲覧可能。貸出業務は行っていない。

普及事業 実習生の受け入れ

■博物館実習

7月31日(木)から8月8日(金)にかけて、お茶の水女子大学、尚絅学院大学、東北芸術工科大学、文星芸術大学より学芸員資格取得を目指す4名の実習生を受け入れ、8日間の日程で学芸業務に関する講義・実習を行った。

■職場体験学習

下記の表のとおり、3つの中学校および1つの高校より依頼があり、職場体験学習を受け入れ、広報業務や作品を説明する仕事などを体験してもらった。

開催日	講師	学校(参加人数)	会場
9月9日(火)	当館学芸員	四倉中学校(3名)	館内
9月11日(木)	当館学芸員	平第二中学校(3名)	館内
9月26日(金)	当館学芸員	平第一中学校(3名)	館内
10月8日(水)	当館学芸員	いわき総合高校(2名)	館内

■教職員研修

8月2日(土)、3日(日)、いわき支援学校教諭1名、平第三小学校教諭1名の社会体験研修として受け入れる。ワークショップ「美術館的自由研究のすすめ2025」の補助と美術館における教育プログラムを立案した。

普及事業 バーチャル ミュージアム

展覧会会場をインターネット上で公開。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
1月6日(火)～ 1月25日(日)	布施雅彦 (福島高専准教授)	360° バーチャルミュージアム「いわき市小・中学生版画展プラスー版画のカー」 展覧会の開幕時から通年配信。学校や家庭で展覧会の様子を視聴するほか、作品作りの参考として利用しているとの例もあった。	当館ホームページ上



市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」
(磐城桜が丘高校書道部)



市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」
(いわき秀英学園書道部)



市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」
(磐城高校書道部)

普及事業
共催事業

他公共施設、学校、さらに各種民間団体等と協働・連携し、多角的な事業を展開する。

開催日	講師(演者)	講座名(内容)	共催先	会場
企画展関連「展覧会を楽しむ鑑賞講座」 市内公共施設との共催で行う連続講座。学芸員が、スライドなどを使って展覧会の見どころを紹介する。				
5月14日(水)	当館学芸員	中央公民館市民講座「ことぶき文化学園」 谷川俊太郎 絵本★百貨展	中央公民館	中央公民館、 展示室
5月29日(木)	当館学芸員	中央公民館市民講座「アートに触れるin美術館2025」 谷川俊太郎 絵本★百貨展	中央公民館	セミナー室、 展示室、1階 ロビー
7月31日(木)	当館学芸員	日本の巨大ロボット群像		
10月2日(木)	当館学芸員	ニューアートシーン・イン・いわき unpis		
10月30日(木)	当館学芸員	やすらぎの近代絵画		
5月21日(水)	当館学芸員	鹿島公民館市民講座「市立美術館を楽しむ」 谷川俊太郎 絵本★百貨展	鹿島公民館	セミナー室、 展示室、1階 ロビー
7月29日(火)	当館学芸員	日本の巨大ロボット群像		
9月10日(水)	当館学芸員	常設展		
10月1日(水)	当館学芸員	ニューアートシーン・イン・いわき unpis		
10月28日(火)	当館学芸員	やすらぎの近代絵画		
12月2日(火)	当館学芸員	常設展		
12月9日(火)	当館学芸員	コレクションの輝き		
5月31日(土)	当館学芸員	中央公民館「平第二うめか土曜学習」 谷川俊太郎 絵本★百貨展	中央公民館	中央公民館、 展示室
5月10日(土)	和合亮一	いわき市立美術館×いわきアリオス×いわき市立草野心平記念文学館連 携事業「福島詩人・和合亮一による詩作ワークショップ」(谷川俊太郎編) いわきアリオスと草野心平記念文学館との連携事業。和合亮一とともに参 加者が詩作するワークショップ。当館では谷川俊太郎編として、「谷川俊太郎 絵本★百貨展」の中の言葉をひろいあつめながら観覧。その後、参加者それ ぞれが和合のアドバイスを受けながら詩を書き、朗読した。	いわきアリ オス いわき市立 草野心平記 念文学館	いわき市立 美術館
5月18日(日)	DiVa (高瀬“makorin” 麻里子、谷川賢作(Pf)、 大坪寛彦(B))	いわき市立美術館×いわきアリオス連携事業 コンサート「DiVaの 音楽会～まるで絵本の世界を旅するようなDiVaの歌へようこそ～」 「谷川俊太郎 絵本★百貨展」の関連事業として、いわきアリオスと連携 して開催。谷川俊太郎の詩を歌詞とした楽曲のほか、いわきならではの 楽曲を演奏し、こどもから大人まで楽しめるコンサートとなった。	いわきアリ オス	いわきアリ オス 本館4階 小劇場
2月8日(日)	石川大澄、 芳賀二葉、 江川文子 (書の部招待作家)	市美展書の部「部会員(招待作家)による揮毫会」 司会が作家の紹介を行い、3名の招待作家が順番に書を揮毫し、その後 自身の書について詳しく解説。観覧者はじっくり鑑賞し解説を聞いて、 充実した時間を過ごしていた。	市美展書の 部	1階ロビー



市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」
(いわき湯本高校日本文化書道班)



市美展書の部「部会員(招待作家)による作品揮毫会」



市美展写真の部「招待作家による作品解説会」

開催日	講師(演者)	講座名(内容)	共催先	会場
2月11日(水・祝)	磐城桜が丘高校書道部、いわき秀英中学高等学校書道部	市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」 いわき秀英中学高等学校書道部と磐城桜が丘高校書道部が音楽に合わせた迫力ある書道パフォーマンスを披露。多くの観覧者が訪れ、盛会となった。完成作品は会期中に2階ロビーに展示。	市美展書の部	2階ロビー
2月15日(日)	磐城高校書道部、いわき湯本高校日本文化部書道班	市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」 磐城高校書道部といわき湯本高校日本文化部書道班が書道パフォーマンスを披露。磐城高校はダンス要素も取り入れ、観覧者を魅了。市内高校書道部が集まる貴重な機会となり、互いに良い刺激を受ける場となった。	市美展書の部	2階ロビー
2月21日(土)	絵画・彫塑の部 招待作家	市美展絵画・彫塑の部「招待作家による入選作品批評会」 講評を希望する入選者の作品に対して、招待作家が講評を述べた。入選者同士でも質問が交わされるなど、活発な議論と学びの場となった。	市美展絵画・彫塑の部	企画展示室 1、2
3月8日(日)	写真の部 招待作家	市美展写真の部「招待作家による作品解説会」 写真の部の招待作家による入賞作品および希望作品に対する講評会。入賞作品については、作者の参加の有無を問わず解説を行い、その後、参加者が希望する作品について解説した。	市美展写真の部	企画展示室 1、2
3月8日(日)、 3月15日(日)	市美展陶芸の部 部会員	市美展陶芸の部「タッチコーナー」 陶芸の部会員が自身の作品を持ち寄り、来館者に実際に触れてもらいながら解説を行う。作品の質感や技法について知ることができる場となり、陶芸への興味を深める貴重な機会となった。	市美展陶芸の部	2階ロビー
毎月2回	山本伸樹 (現代美術家)	美術館友の会「デッサン教室」 美術館友の会との共催事業。土曜クラスと日曜クラスの参加者たちは、毎月1回、集中して課題に取り組み、それぞれにデッサンの技術を向上させた。	いわき市立美術館友の会	セミナー室



市美展絵画・彫塑の部「招待作家による入選作品批評会」



市美展陶芸の部「タッチコーナー」



美術館友の会「デッサン教室」

美術作品収蔵状況

年度	購 入		寄 贈		移管 点数	計 点数	寄 託	
	点数	備 考	点数	備 考			点数	備 考
昭55年	68		10		0	78	1	一色智嘉子《CHU》
56	115		337	宝船312点	0	452	1	大平華泉《白河城址》
57	75		26		0	101		
58	357		67	資料 3 点含む	5	429		
59	54		27		4	85		
60	53		37		0	90		
61	23		105		7	135		
62	7		22		0	29		
63	21		8		0	29		
平成元	11		9		2	22	2	北郷梧《ERA》(寝台に横たわる人)
2	17		28	資料 2 点含む	0	45	49	
3	10		5		0	15	1	舟越桂《静かな奇襲》
4	9		9		0	18		
5	9		0		0	9		
6	5		4		0	9		
7	7		4		0	11		
8	7		2		0	9		
9	11		1		0	12	12	田口安男
10	28		6		0	34		
11	8		37		0	45	-43	松田松雄 5 点及び中村一美 1 点《道元》また H 2 年度寄託作品 49 点返却
12	11		23		0	34		
13	8		22		0	30	-1	中村一美《道元》(同年受贈)
14	8		1		0	9		
15	12		42		0	54	2	中村一美《織桑鳥 V》(北奥千丈)
16	33		13		0	46		
17	17		8		0	25		
18	3		1		0	4		
19	0		3		0	3	-1	大平華泉《白河城址》(返却)
20	0		30		0	30	14	イケムラレイコ 13 点、河川龍夫 1 点
21	0		1		0	1		
22	0		0		0	0		
23	0		40	資料 9 点含む	0	40	-12	田口安男作品(平成 9 年度寄託作品受贈)
24	0		116		0	116		
25	0		18		0	18		
26	0		22		0	22	-1	中村一美《北奥千丈》(返却)
27	0		14		0	14		
28	0		157		0	157		
29	0		29		0	29		
30	0		22	資料 2 点含む	0	22	-1	舟越桂《静かな奇襲》(返却)
令和元	0		5		0	5		
2	0		5		0	5		
3	0		72	資料 4 点含む	0	72		
4	0		14		0	14		
5	0		11		0	11		
6	0		10	資料 2 点含む	0	10		
7	0		23		0	23		
計	987		1, 446		18	2, 441	23	

美術作品貸出状況

展覧会名	会期開始日	会期終了日	会場名	作者名	作品名	登録番号
岡崎乾二郎 而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here	2025/04/29	2025/07/21	東京都 現代美術館	岡崎乾二郎	あかさかみつけ# 2	ICAM2004-012
				岡崎乾二郎	あかさかみつけ#10	ICAM2004-013
				岡崎乾二郎	あかさかみつけ#11	ICAM2004-014
				岡崎乾二郎	あかさかみつけ#12	ICAM2004-015
				岡崎乾二郎	あかさかみつけ#17	ICAM2004-016
時代のプリズム：日本で生まれた美術表現 1989-2010	2025/09/03	2025/12/08	国立 新美術館	蔡國強	日々	ICAM1995-011
生誕110周年 鈴木新夫展 一画家のまなざし 描くということー	2025/10/21	2025/12/14	豊島区立 郷土資料館	鈴木新夫	筏のある風景	ICAM1981-052
				鈴木新夫	ゴンドラ	ICAM1981-054
				鈴木新夫	機関庫	ICAM1981-063
				鈴木新夫	機関庫(スケッチ)	ICAM1981-064
				鈴木新夫	ゴンドラ(下絵)	ICAM1983-252
				鈴木新夫	炭坑・ズリ山	ICAM1983-364
				鈴木新夫	炭坑・洗濯物のある風景	ICAM1983-365
				鈴木新夫	舟のある風景	ICAM1986-047
				鈴木新夫	細長い煙突のある家	ICAM1986-072
				鈴木新夫	妻	ICAM2014-004
				鈴木新夫	機関庫(スケッチ)	ICAM1981-117
				鈴木新夫	ゴンドラ(下絵)	ICAM1983-251
				鈴木新夫	炭坑長屋	ICAM1983-360
				鈴木新夫	鉄骨を組む人	ICAM1985-066
				鈴木新夫	見本市へ行く人 下絵	ICAM1986-053
				鈴木新夫	選炭作業	ICAM2015-011
				鈴木新夫	機関庫(スケッチ)	ICAM1981-120
				鈴木新夫	炭坑風景(トロッコ)	ICAM1985-074
				鈴木新夫	炭坑の町	ICAM1985-075
				鈴木新夫	筏のある風景	ICAM1985-076
				鈴木新夫	選炭する女	ICAM1986-057
				鈴木新夫	古河好間炭鉱ズリ山	ICAM2015-006

資料の購入等に関する状況

●図書資料

	購 入			受 贈			小 計
	図 書	図録・目録	館報・紀要	図 書	図録・目録	館報・紀要	
令和2年度まで	5,336	186	6	3,338	21,625	6,340	36,831
令和3年度	55	2	0	74	320	160	611
令和4年度	29	1	0	72	261	183	546
令和5年度	40	4	0	35	228	67	374
令和6年度	18	2	0	44	280	168	512
令和7年度	16	1	0	47	284	105	453
計	5,494	196	6	3,610	22,998	7,023	39,327

●映像資料

	購 入								受 贈				計
	CD	DVD	ビデオ テープ	LD	フィルム	スライド	カセット テープ	CD-R	CD	DVD	CD-R	その他	
令和2年度まで	24	75	245	51	11	16	0	0	95	103	9	64	693
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
令和6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
令和7年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	24	75	245	51	11	16	0	0	98	103	14	64	701

令和7年度新収蔵作品

凡 例

1. この目録には、令和7年度のいわき市立美術館新収蔵作品を収録した。
2. 作品の分類は、平面作品Ⅰ（直接技法に基づくもの）、平面作品Ⅱ（間接技法に基づくもの：版画等）、平面作品Ⅲ（ポスター、写真等）、立体作品、映像・その他。
3. 各作品のデータは以下の通り。

整理番号／作者名(生没年)
 作品名
 制作年
 技法・材質
 寸法(cm)
 サインの位置及び年記
 最初の発表展覧会及び受賞歴
 収蔵の経緯
 登録番号

4. 作家名は分類ごとに日本人作家と外国人作家に大別し、日本人作家は五十音順に、外国人作家は姓のアルファベット順に配列した。
5. 制作年は、作品に明記されているもの、及び制作事情の明確なものに限って記載した。
6. 寸法は、センチメートルを単位として、平面作品では画面の縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行きとした。

【令和7年度 収蔵作品分類】

平面作品Ⅰ	3点
平面作品Ⅱ	18点
平面作品Ⅲ	0点
立体作品	0点
映像・その他	2点
美術資料	0点
計	23点

《平面作品Ⅰ》

1. 稲川敏之 INAGAWA Toshiyuki (1931-2007)

廃鉱の春
 Spring in the Abandoned Mine
 1976
 油彩・カンヴァス
 53.0×65.2
 右下) '76 Toshi.I
 受贈：吉原公一郎・吉原とよ
 ICAM2025-001



2. 線 幸子 SEN Sachiko (1949-)

記憶する影 I-2
 Memories of Shadows I-2
 2001
 墨・青梅綿・紙
 114.0×77.0
 ニューアートシーン・イン・いわき
 (いわき市立美術館 2005)
 ※個展(池田20世紀美術館、2011)の時に、寸法は現在のサイズとなる(小さくなる)。
 受贈：作家
 ICAM2025-002

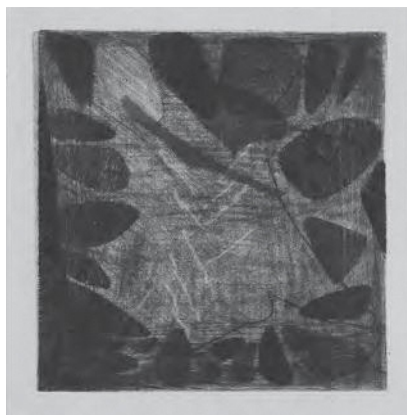


3. 山野辺英明 YAMANOBE Hideaki (1964-)
 Through the Clouds
 2024
 アクリル彩・カンヴァス
 145.0×227.0
 個展 (BASE GALLERY、2025)
 受贈：作家
 ICAM2025-003



《平面作品Ⅱ》

1. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)
 夜明けの窓
 Window in the Sunrise
 1957
 ドライポイント・紙
 (エディション番号記載なし) 限定20部
 16.0×15.5
 受贈：佐藤陽子
 ICAM2025-004



2. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)
 女
 Woman
 1960
 ドライポイント・紙
 23.5×18.0
 ed.13/20
 左下) 13/20
 右下) M.Ikeda
 『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
 [1971]
 受贈：佐藤陽子
 ICAM2025-005



3. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

女・天使

Woman, Angel

1961

ドライポイント・紙

17.0×8.0

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-006



4. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

狂女

Crazy Woman

1961

ドライポイント・紙

18.0×12.2

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-007



5. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

シーツの上の三人

Three on the Sheets

1961

ドライポイント・紙

18.0×17.2

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-008



6. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

苦悩

Suffering

1961

ドライポイント・紙

18.2×17.5

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-009



7. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

子供

Child

1961

ドライポイント・紙

18.0×18.5

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-010



8. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

行為する女

Doing Woman

1961

ドライポイント・紙

11.5×12.0

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-011



9. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

寝台の上

On the Bed

1961

ドライポイント・紙

18.2×17.7

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-012



10. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

人形

A Doll

1961

ドライポイント・紙

13.8×12.0

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-013



11. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

女の動物

Woman's Animal

1962

ドライポイント・紙

19.0×18.5

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-014



12. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

日光浴する貴婦人たち

Ladies Taking Sunshine

1962

ドライポイント、アクアチント・紙

36.2×34.5

(E.A) 限定20部

左下) Epr d'Artiste

右下) M.Ikeda'63

受贈: 佐藤陽子

ICAM2025-015



13. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

森の祭

Festival in the Woods

1962

ドライポイント、ルーレット・紙

36.0×34.3

(E.A) 限定20部

左下) Epr d'Artiste

右下) M.Ikeda

受贈: 佐藤陽子

ICAM2025-016



14. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

私のユーウツな日

My Blue Day

1963

ドライポイント、ルーレット、エッチング・紙

36.4×34.2

(E.A) 限定20部

左下) Epr d'Artiste

右下) M.Ikeda'63

受贈: 佐藤陽子

ICAM2025-017



15. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

自画像、習作

Self Portrait, Study

1964

ドライポイント・紙

19.0×18.4

ed.13/20

左下) 13/20

右下) M.Ikeda

『未刊銅版画集1960-64』収録、番町画廊刊行
[1971]

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-018



16. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

午後

Just Afternoon

1969

エッチング、ルーレット、メゾチント、ドライポイント・紙

42.0×32.5

(E.A) 限定50部

左下) Epr d'Artiste

右下) M.Ikeda'69

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-019



17. 池田満寿夫 IKEDA Masuo (1934-1997)

七つの大罪「傲慢の罪」

Superbia, Seven Deadly Sins

1972

ドライポイント、メゾチント、エッチング・紙

30.0×26.5

(T.P) 限定60部

左下) Trial proof

右下) M.Ikeda'72

受贈：佐藤陽子

ICAM2025-020



18. 野田哲也 NODA Tetsuya (1940-)
 日記 1970年4月22日ニューヨーク (e)
 Diary; April 22nd '70, in New York (e)
 1970
 木版、スクリーンプリント・和紙
 44.2×44.2
 ed.3/35
 右下) T.Noda
 受贈：すまいギャラリー
 ICAM2025-021



《映像・その他》

1. 吉田重信 YOSHIDA Shigenobu (1958-)
 1999年4月30日、Bordeaux
 April 30, 1999, Bordeaux
 1999
 映像
 50分25秒
 ed.2/10
 ART-ING TOKYO 1999: 21×21 セゾンアートプログラム (ギャラリー現、1999)
 受贈：作家
 ICAM2025-022



2. 吉田重信 YOSHIDA Shigenobu (1958-)
 1999年4月30日、Bordeaux
 April 30, 1999, Bordeaux
 1999
 (2025再編集)
 映像
 (※1999年制作の作品を16:9のアスペクト比に合わせて再編集したもの)
 50分25秒
 ed.1/10
 コレクションの輝き (いわき市立美術館、2025)
 受贈：作家
 ICAM2025-023



いわき市立美術館条例

昭和58年12月27日 いわき市条例第58号

(設置)

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
いわき市立美術館	いわき市平字堂根町4番地の4

(事業)

第3条 いわき市立美術館(以下「美術館」という。)は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第4条 美術館の常設展(美術作品等の常設展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、美術館の特別展(常設展以外の展示をいう。以下同じ。)と併せて観覧する場合又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第2条に規定する国民の祝日において観覧する場合は、この限りでない。

2 特別展を観覧しようとする者は、別表第2に定める額の範囲内において、市長が定める観覧料を納付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第5条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術作品等の写真撮影、模写又は模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める撮影等料金を納付しなければならない。

(観覧料等の免除)

第6条 市長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、観覧料(常設展に係るものに限る。)又は撮影等料金を免除することができる。

- (1) 外国人留学生が、福島県の実施する外国人留学生文化施設等無料観覧制度に基づき観覧するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が行う教育、学術又は文化に係る事業の用に供するため撮影等をするとき。

(観覧料等の不返還)

第7条 既納の観覧料又は撮影等料金は、返還しない。ただし、市長は、災害その他不可抗力により、観覧又は撮影等を行うことができなくなったときは、既納の観覧料又は撮影等料金を返還することができる。

(入館の制限)

第8条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を制限し、又は館外へ退館させることができる。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は美術作品等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に支障があると認めるとき。

(賠償責任)

第9条 入館者は、施設、設備又は美術作品等を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長は、相当の理由があると認める場合は、その全部又は一部を免除することができる。

(美術館協議会)

第10条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、いわき市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。
- 3 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和59年4月28日から施行する。ただし、第1条から第3条まで、第10条及び第11条の規定は、昭和59年4月1日から施行する。

(略)

附 則(令和5年3月9日いわき市条例第8号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1(第4条関係)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	220円	170円
高 校 生、高等専門高校生、大学生	150円	120円
小 学 生、中 学 生	70円	50円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第2(第4条関係)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	1,500円	1,200円
高 校 生、高等専門高校生、大学生	740円	590円
小 学 生、中 学 生	440円	350円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第3(第5条関係)

区 分		料 金	
写 真 撮 影	モ ノ ク ロ ーム	1点1回につき	1,650円
	カ ラ ー	1点1回につき	3,300円
模 写、模 造		1点1日につき	2,200円
熟 覧、拓 本		1点1回につき	220円

- 備考 1 ^{びょう}屏風は、1双を1点とする。
- 2 1そろいの卷子(巻物をいう。)は、1巻を1点とする。
- 3 対幅は、1幅を1点とする。
- 4 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

いわき市立美術館管理規則

昭和59年3月31日 いわき市教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、いわき市立美術館条例(昭和58年いわき市条例第58号。以下「条例」という。)の規定に基づき必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 いわき市立美術館(以下「美術館」という。)に、次の課及び係を置く。

庶務課 庶務係

学芸課 学芸係、普及係

(事務分掌)

第3条 課の事務分掌は、次のとおりとする。

庶務課

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 予算の経理に関すること。
- (3) 美術館の維持管理に関すること。
- (4) 観覧料及び撮影等料金の徴収に関すること。
- (5) 統計に関すること。
- (6) 美術館協議会に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸課の所掌に属しない事務に関すること。

学芸課

- (1) 美術作品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究に関すること。
- (3) 展覧会、研究会、講演会、映写会等の開催に関すること。
- (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- (5) 美術作品等の利用に関する助言及び指導に関すること。
- (6) 美術作品等の寄贈及び寄託に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸事務に関すること。

(職及び職務)

第4条 美術館に館長、副館長、課に課長、係に係長を置き、必要に応じ、参事、主幹、主任主査、専門学芸員、主査、主任学芸員、事務主任、主事、学芸員、主任運転手及び運転手を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 参事は、上司の命を受け、美術館事務に関する企画及び調整に参画する。
- 4 副館長は、館長の職務遂行を補佐し、館長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 主幹は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を掌理する。
- 6 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。
- 7 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 8 主任主査は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
- 9 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の専門的な事務を処理する。
- 10 主査は、上司の命を受け、美術館の事務の一部を分担処理する。
- 11 主任学芸員は、上司の命を受け、係の事務のうち特定の事務を処理する。
- 12 事務主任は、上司の命を受け、係の事務の一部を分担処理する。
- 13 主事は、上司の命を受け、事務をつかさどる。
- 14 学芸員は、上司の命を受け、専門的な事務を処理する。
- 15 主任運転手は、上司の命を受け、担任の自動車運転の業務を処理する。

16 運転手は、上司の命を受け、自動車運転の業務に従事する。

(休館日)

第5条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後のその日に最も近い休日でない日)

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(開館時間)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時(入館は、午後4時30分)までとする。ただし、毎年7月及び8月の金曜日については、午前9時30分から午後8時(入館は、午後7時30分)までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧券の交付)

第7条 条例第4条の規定により、観覧料を納付した者に対して観覧券(第1号様式)を交付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第8条 条例第5条第1項に規定する撮影、模写又は模造等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は撮影等許可申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、撮影等を許可したときは、撮影等許可書(第3号様式)を交付する。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第6条第2号又はいわき市障害者、高齢者及び児童生徒等の利用に係る公の施設の使用料の減免に関する条例(平成13年いわき市条例第56号)第5条第1項の規定により観覧料又は撮影等料金の減免を受けようとするときは、観覧料・撮影等料金減免申請書(第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、観覧料又は撮影等料金の減免を決定したときは、観覧料・撮影等料金減免通知書(第5号様式)を交付する。

(観覧料等の返還)

第10条 条例第7条の規定により観覧料又は撮影等料金の返還を受けようとする者は、その理由を記載した観覧料・撮影等料金返還申請書(第6号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(美術館協議会の会長及び副会長)

第11条 条例第10条に規定するいわき市立美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第12条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務処理及び服務)

第13条 美術館における事務処理及び服務については、いわき市教育委員会事務局処務規程(昭和47年いわき市教育委員会訓令第2号)に基づく事務処理及び服務の例による。

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第5条から第10条までの規定は、昭和59年4月28日から施行する。

(略)

附 則(平成22年3月31日いわき市教委規則第5号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

第1号様式（第7条関係）

その1

常 設 展 観 覧 券	(切	常 設 展 観 覧 券
金 額 取	線	金 額
いわき市立美術館	この券をもって領収に代えます。	いわき市立美術館

その2

特 別 展 観 覧 券	(切	特 別 展 観 覧 券	(切	常 設 展 観 覧 券
金 額 取	線	金 額	取	線
いわき市立美術館	この券をもって領収に代えます。	いわき市立美術館		

- 備考 1 寸法、デザイン等については、その都度定める。
- 2 観覧券の区分は、一般、高校生・高等専門学校生・大学生及び小学生・中学生とする。

第2号様式（第8条関係）

第2号様式（第8条関係）

撮 影 等 許 可 申 請 書

いわき市教育委員会 殿

年 月 日

申 請 者 住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者

電話 —

注 太枠線のみ記入してください。

第 号 年 月 日許可

美術作品の名称

作者名

点数

日時 年 月 日 時 分から 時 分まで

目的

方法

方法	撮影	模写	模造	熟覧	拓本
料 金	撮 影	モノクローム	点	円	計 円
		カ ラ ー	点	円	
	模 写 ・ 模 造		点	円	
	熟 覧 ・ 拓 本		点	円	

館長 副館長 課長 係長 係

第3号様式（第8条関係）

第3号様式（第8条関係）

撮 影 等 許 可 書

殿

いわき市教育委員会 殿

下記のとおり撮影等を許可します。

第 号 年 月 日許可

美術作品の名称	作者名	点数			
日時 年 月 日 時 分から 時 分まで					
目的					
方法					
料 金	撮 影	モノクローム	点	円	計 円
		カ ラ ー	点	円	
	模 写 ・ 模 造		点	円	
	熟 覧 ・ 拓 本		点	円	

指示事項

第4号様式（第9条関係）

観覧料減免申請書
撮影等料金

いわき市教育委員会

年 月 日

住所（所在地）
申請者 氏名（名称及び代表者氏名）
電話番号
担当者氏名

注意 太枠の中だけ記入してください。

観覧日時 年 月 日 時 分から 時 分まで			撮影等日時 年 月 日 時 分から 時 分まで		
区 分	常設展	特別展	撮 影 等		
一 般	人	人	写真撮影	モノクローム	点
			カラール	点	
			模写・模造	点	
			熟覧・拓本	点	
計	人	人	計	点	

減免申請の理由

☐ 減免する。 ☐ 減免しない。	減免しない理由	納付すべき観覧料等 円
		減 免 率
		減免後の観覧料等 円
		起 案 年 月 日
		決 裁 年 月 日
		施 行 年 月 日
		許可番号 第 号

館長 副館長 課長 係長 係員

第5号様式（第9条関係）

観覧料減免通知書
様

年 月 日

いわき市教育委員会 図

申請年月日 年 月 日	許可番号 第 号			
観覧日時 年 月 日 時 分から 時 分まで	撮影等日時 年 月 日 時 分から 時 分まで			
区 分	常設展	特別展	撮 影 等	
一 般	人	人	写真撮影	モノクローム
			カラール	点
			模写・模造	点
			熟覧・拓本	点
計	人	人	計	点

減免率

減免後の観覧料

減免後の撮影等料金

第6号様式（第10条関係）

観覧料返還申請書
撮影等料金

いわき市教育委員会殿

下記のとおり観覧料の返還を受けたいので申請します。

年 月 日

住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者

電話

第 号 年 月 日許可者

申請理由

既納観覧料等		
観 覧 料	枚	円
撮影料等	枚	円
返還申請金額		円

館長 副館長 課長 係長 係員

事業経過報告

令和8年3月31日現在

展 覧 会 名		開 催 期 間 (日数)	料 金						入 場 者 数									7 年 度 計
			一 般			団 体			一 般			団 体			招 待	無 料		
			一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中				
常 設 展	新しい表現を求めて 1980～90年代のアートシーン 見覚えのない形 1/15～4/20	4/1～4/20 18日間	220	150	70	170	120	50	49	8	4	16	1	1	4	221	304	
	日本現代美術の開拓者たち 特集：谷川俊太郎といわき 4/22～7/21 自然を見つめて 7/23～10/19	4/22～10/19 158日間	220	150	70	170	120	50	324	39	7	147	93	3	1,298	16,544	18,455	
	多様化する現代美術 色と形・素材とのかかわり 10/21～1/18 新しい秩序の創造 1/20～3/31	10/21～3/31 132日間	220	150	70	170	120	50	409	49	8	153	9	1	118	2,135	2,882	
	常 設 展 計 (A) 308日間								782	96	19	316	103	5	1,420	18,900	21,641	
企 画 展	谷川俊太郎 絵本★百貨展	4/19～6/8 45日間	1,000	600	400	800	480	320	4,674	146	438	345	0	0	560	5,148	11,311	
	日本の巨大ロボット群像 ー巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現ー	6/28～8/24 51日間	1,200	600	400	960	480	320	11,442	388	795	260	0	62	2,373	5,521	20,841	
	やすらぎの近代絵画 ーユニマットコレクション ミレーからワイエスまでー	9/13～11/3 45日間	1,000	600	400	800	480	320	1,626	79	40	126	0	0	243	2,557	4,671	
	コレクションの輝き	11/15～12/14 26日間	500	300	100	400	240	80	364	19	6	73	0	0	144	669	1,275	
	ニューアートシーン・イン・いわき unpis	9/13～11/3 45日間	無 料												5,566	5,566		
	いわき市小・中学生版画展	1/6～1/25 18日間	無 料												2,811	2,811		
	第55回いわき市民美術展覧会 (書の部)	2/6～2/15 9日間	無 料												1,321	1,321		
	(絵画・彫塑の部)	2/20～3/1 9日間	無 料												2,015	2,015		
	(陶芸の部・写真の部)	3/6～3/15 9日間	無 料												1,344	1,344		
	企 画 展 計 (B)								18,106	632	1,279	804	0	62	3,320	26,952	51,155	
展 覧 会 事 業 計 (A)+(B)								18,888	728	1,298	1,120	103	67	4,740	45,852	72,796		
普 及 事 業 計																3,622		
合 計								18,888	728	1,298	1,120	103	67	4,740	45,852	76,418		

令和7年度 普及事業報告

令和8年3月31日現在

項 目	事 業 名	講 師 ・ 助 言 者	日 時	人数
移 動 美 術 館	総合教育センター チャレンジホーム「メタル風アートをつくろう」	当館学芸員	12月5日	20
小 計				20
講 演 会	記念対談「80年代ロボットアニメの隆盛とガンダムの展開」	山口洋三（本展監修者）、五十嵐浩司（本展ゲストキュレーター）	6月28日	73
	講演会「ユニマットコレクションにみる藤田嗣治の女性像一暮らしの中のやすらぎ」	高橋佳苗（神戸市立博物館学芸員）	10月11日	25
小 計				98
美 術 講 座	美術講座「特集：谷川俊太郎といわき」	当館学芸員	6月1日	5
	ティールチャーズミュージアム	館長、当館学芸員	8月7日	8
	美術講座「展覧会の見どころ」(やすらぎの近代絵画―ユニマットコレクション ミレーからワイエスまで―)	当館学芸員	10月18日	30
	常設展 美術講座（後期Ⅱ）	当館学芸員	2月28日	2
小 計				45
ギャラリートーク	「谷川俊太郎 絵本★百貨展」ギャラリートーク	林綾野（本展キュレーター）	4月19日	33
	「ニューアートシーン・イン・いわき unpis」アーティストトーク	unpis（イラストレーター）、聞き手：当館学芸員	9月13日	45
	「コレクションの輝き」ギャラリートーク	当館学芸員	11月22日	13
	常設展ギャラリートーク	当館学芸員	通年（9回）	35
	団体解説	当館学芸員	通年（23回）	719
小 計				845
ワークショップ	美術館の今ここ図工室「紙コップインスタレーション」	当館学芸員	4月27日	49
	美術館の今ここ図工室「ガムテーパーアート」	当館学芸員	5月25日	89
	美術館の今ここ図工室「小さくてゴメンね！ミニロボットを作ろう」	当館学芸員	7月5日	29
	夏休みの自由研究のすすめ2025	当館学芸員	8月2日・8月3日	2
	「自分の好きなもの」を描いてみる	unpis（イラストレーター）	10月19日	10
	ダンス気功「繭（いと）の夢」	居上紗笈（舞踊家）、居上紗芽（舞踊家）、藍木二郎（舞踊家）	12月6日・12月7日	5
	かんたん！版画体験コーナー&版画の広場	当館スタッフ	1月6日～1月25日	468
	わくわくアートスクール「1枚だけの版画 水彩モノタイプ」	常田泰由（アーティスト）	1月17日・1月18日	18
小 計				670
実 技 講 座	ロボットプラモデルを組み立てて、撮影してみよう！	丹文聡（模型メディア「nippper」副編集長）	8月9日・8月10日	32
	ロボットプラモデル筆塗り講座 君だけの色に塗ってみよう！	丹文聡（模型メディア「nippper」副編集長）	8月10日・8月11日	20
	夏休み子ども版画教室「これも版画？集めて貼ってコラグラフ」	宮嶋結香（画家・版画家）	8月16日・8月17日	20
	学校現場で応用できる、さまざまな版画表現	安齋歩見（版画家）	8月19日	9
小 計				81
映 像 鑑 賞 会	「谷川俊太郎 絵本★百貨展」ドキュメンタリー鑑賞会		5月3日・5月4日	59
	映画鑑賞会「ブラド美術館 驚異のコレクション」(字幕版)		10月4日	36
	春分の日映画会「ブレンダンとケルズの秘密」(吹替版)		3月20日	54
小 計				149
コンサート&パフォーマンス	コンサート「フランス近代の調べ 〜ピアノの連弾・独奏とトーク〜」	渡辺秋香（ピアニスト）、梅原尚子（ピアニスト）	9月15日	88
	ダンスライブ「平和への祈り 鎮魂のダンスの饗宴」	蒼浩人（舞踏家）、居上紗笈（舞踊家）、藍木二郎（舞踊家）、居上紗芽（舞踊家）	12月7日	20
	春を祝うコンサート&パフォーマンス「箏×尺八×三絃の調べ 春の彩り」	カーティス・バターソン（箏曲奏者）、ブルース・ヒューバナー（尺八奏者）、木田敦子（箏曲奏者）	1月12日	94
小 計				202
実技講習室の公開	実技講習室の公開	当館学芸員	通年	5
小 計				5
実習生の受け入れ	教職員研修	当館学芸員	8月2日・8月3日	2
	職場体験学習（四倉中、平二中、平一中、いわき総合高校）	当館学芸員	9月9日～10月8日（4回）	11
小 計				13
バーチャルミュージアム	いわき市小・中学生版画展バーチャルミュージアム	布施雅彦（福島高専准教授）	1月6日～1月25日	199
小 計				199
共 催 事 業	中央公民館「ことぶき文化学園」講座（谷川俊太郎）	当館学芸員	5月14日	64
	中央公民館「アートに触れるin美術館2025」講座	当館学芸員	5月29日～10月30日（4回）	103
	鹿島公民館「市立美術館を楽しむ」講座	当館学芸員	5月21日～12月9日（7回）	134
	中央公民館「平第二うめか土曜学習」（谷川俊太郎）	当館学芸員	5月31日	50
	いわき市立美術館×いわきアリオス×いわき市立草野心平記念文学館連携事業「福島詩人・和合亮一による詩作ワークショップ」（谷川俊太郎編）	和合亮一（詩人）	5月10日	19
	いわき市立美術館×いわきアリオス連携事業 コンサート「DiVaの音楽会～まるで絵本の世界を旅するようなDiVaの歌へようこそ～」	DiVa（アーティスト）	5月18日	200
	市美展書の部「部会員（招待作家）による揮毫会」	市美展書の部招待作家（石川大渡、芳賀二葉、江川文子）	2月8日	56
	市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」	磐城桜が丘高校書道部、いわき秀英中学高等学校書道部	2月11日	98
	市美展書の部「高校生による書道パフォーマンス」	磐城高校書道部、いわき湯本高校日本文化部書道班	2月15日	108
	市美展絵画・彫塑の部「招待作家による入選作品批評会」	絵画・彫塑の部招待作家	2月21日	30
	市美展写真の部「招待作家による作品解説会」	市美展写真の部招待作家（増井治、柏館健）	3月8日	23
	市美展陶芸の部「タッチコーナー」	市美展陶芸の部部会員	3月8日・3月15日	61
	デッサン教室	山本伸樹（現代美術家）	毎月2回（24回）	349
小 計				1,295
合 計				3,622

令和7年度美術館費当初予算

(単位：千円)

項 目	金 額
人 件 費	89,566
管 理 費	84,107
施 設 運 営 費	55,523
作 品 購 入 費	0
長 寿 命 化 事 業 費	28,584
事 業 費	60,753
企 画 展 事 業 費	55,670
常 設 展 事 業 費	1,719
教 育 普 及 事 業 費	2,501
調 査 研 究 事 業 費	718
美術品等取得基金繰出金	145
計	234,426

美術館協議会委員

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

	氏 名	職 業(役職名)
委 員	大場 敏宣	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 会長
委 員	西本 泉	いわき女性の会 元会長
委 員	會川 和美	いわき市文化協会 会長
委 員	鷺 邦明	いわき美術協会 事務局長
委 員	鳥海陽太郎	いわき地域学会 副代表幹事
委 員	大和田勝史	いわき青年会議所 常任理事
委 員	比佐美智子	国際ソロプチミストいわき 会長
委 員	安斉 重夫	美術家
委 員	吉田 重信	美術家
委 員	武藤 眞一	いわき市立美術館友の会 会長
委 員	窪木富士美	いわき市小学校教育研究会図画工作部会 元部長
委 員	中野 康元	いわき市中学校教育研究会美術専門部会 部長
委 員	和田 知典	福島県高等学校教育研究会美術工芸専門部会いわき支部 会員
委 員	鈴木 純子	いわき市子ども会育成会連絡協議会 会計

【博物館法】

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行うもの並びに学識経験を有する者の中から当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

美術館職員

令和7年4月1日現在

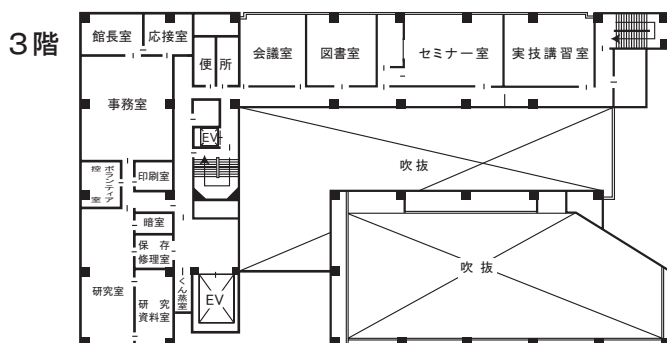
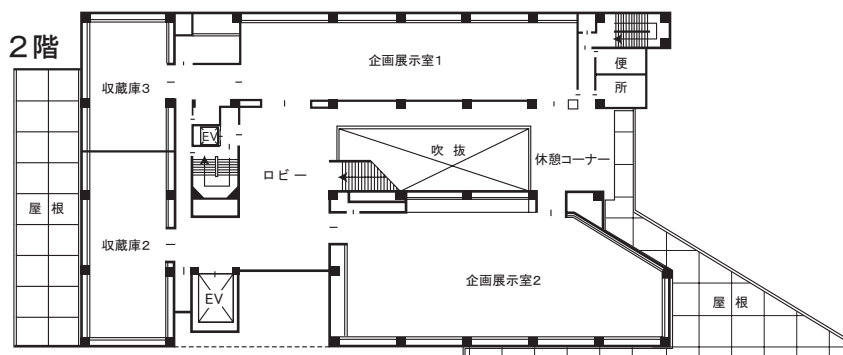
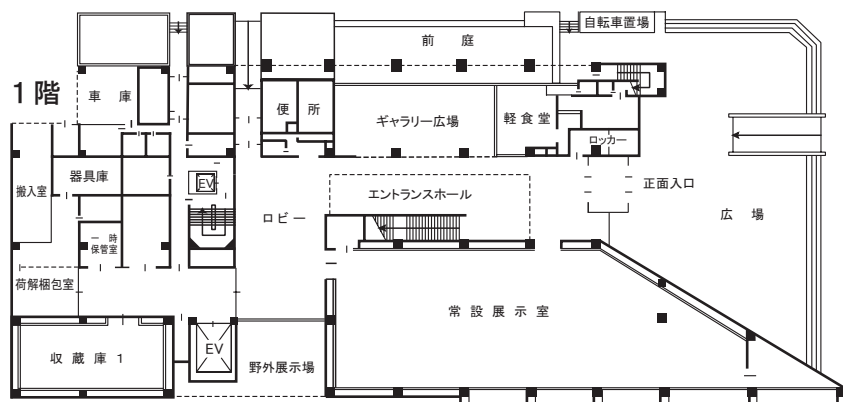
	職 名	氏 名
	館 長 [㊦]	竹内 啓子
	副 館 長 [㊦]	下山田 誠
《庶務課》	課 長(兼務)	下山田 誠
○庶務係	係 長 [㊦]	永山 克也
	主 査	大須賀美栄
《学芸課》	課 長 [㊦]	江尻 英貴
	主任専門学芸員	杉浦 友治
○学芸係	係 長(兼務)	江尻 英貴
	学 芸 員	徳永 祐樹
	学 芸 員	鈴木 彩乃
○普及係	係 長(兼務)	江尻 英貴
	学 芸 員	猪狩 智子

美術品選定評価委員会委員

任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

役 職	氏 名	職 業(役職名)
委員長	北郷 悟	秋田公立美術大学 理事長・学長
副委員長	小勝 禮子	京都芸術大学 非常勤講師
委員	大谷 省吾	東京国立近代美術館 副館長
委員	野口 玲一	三菱一号館美術館 上席学芸員
委員	増渕 鏡子	福島県立美術館 副館長心得兼学芸課長

平 面 図



管 理 ・ 運 営 利 用 案 内

●開館時間

午前9時30分～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

7、8月の毎週金曜日は、夜8時まで開館。(展示室への入場は午後7時30分まで)

●休館日

毎週月曜日(ただし月曜日が祝日等の場合は開館し、翌日休館)

年末年始(12月28日～1月4日)

●観覧料

	常設展	企画展(その都度定める)
一 般	220円(170円)	1,500円(1,200円)以内
高・高専・大学生	150円(120円)	740円(590円)以内
小・中 学 生	70円(50円)	440円(350円)以内

※()内は、20名以上の団体割引料金。

※企画展チケットで常設展もご覧になれます。

●企画展・常設展が無料になる場合

- ・市内在住の65歳以上の方は、企画展・常設展無料
- ・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方は、企画展・常設展無料
- ・土曜日、日曜日に限り、市内の小学校、中学校、高等学校、専修学校(高等課程)、高等専門学校に在学の方は、企画展・常設展無料
- ・祝日は、常設展無料

●図書室の利用時間

午前9時30分～午後5時

7月、8月の毎週金曜日は午後8時まで

●実技講習室の利用時間

午前9時30分～午後4時45分

7月、8月の毎週金曜日は夜7時45分まで

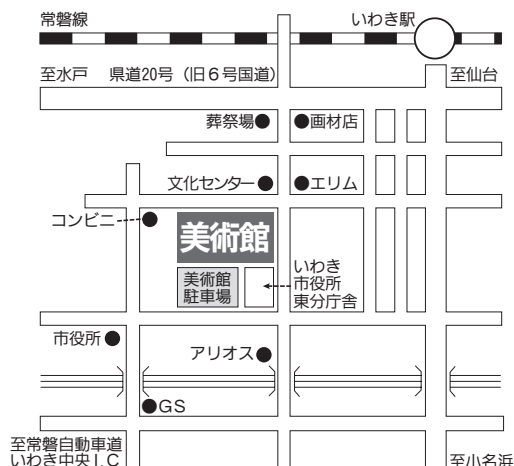
●交 通

JR常磐線、磐越東線いわき駅より徒歩12分

常磐自動車道いわき中央ICより10分

駐車場：美術館駐車場、他 いわき市公共駐車場

●地 図



令和7年度
いわき市立美術館年報

編集・発行
いわき市立美術館
〒970-8026 いわき市平字堂根町4-4

